

(様式第 9)

24 新大病医第 110 号
平成 24 年 10 月 5 日

関東信越厚生局長 殿

新潟大学医歯学総合病院
開設者名 (管理者) 病院長 内山

新潟大学医歯学総合病院の業務に関する報告について

標記について、医療法 (昭和 23 年法律第 205 号) 第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 24 年 10 月 5 日に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	68.3人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	471人	45人	484.8人	看護補助者	6人	診療エックス線技師	人
歯科医師	179人	0人	179人	理学療法士	9人	臨床検査技師	73人
薬剤師	43人	0人	43人	作業療法士	3人	衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	6人	その他	人
助産師	29人	1人	29.6人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	765人	22人	780.5人	臨床工学技士	11人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	2人	5人	5.3人	栄養士	人	その他の技術員	23人
歯科衛生士	18人	6人	21.7人	歯科技工士	6人	事務職員	151人
管理栄養士	7人	0人	7人	診療放射線技師	41人	その他の職員	23人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	671.9人	26.3人	698.2人
1日当たり平均外来患者数	1,520.4人	571.7人	2,092.1人
1日当たり平均調剤数	1,229剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	98人	・膿疱性乾癬	11人
・多発性硬化症	72人	・広範脊柱管狭窄症	9人
・重症筋無力症	136人	・原発性胆汁性肝硬変	68人
・全身性エリテマトーデス	356人	・重症急性膵炎	15人
・スモン	3人	・特発性大腿骨頭壊死症	101人
・再生不良性貧血	32人	・混合性結合組織病	48人
・サルコイドーシス	208人	・原発性免疫不全症候群	8人
・筋萎縮性側索硬化症	29人	・特発性間質性肺炎	12人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	260人	・網膜色素変性症	27人
・特発性血小板減少性紫斑病	53人	・プリオン病	3人
・結節性動脈周囲炎	42人	・肺動脈性肺高血圧症	18人
・潰瘍性大腸炎	270人	・神経線維腫症	44人
・大動脈炎症候群	47人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ピュルガー病	18人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	5人
・天疱瘡	44人	・慢性血栓栓性肺高血圧症	6人
・脊髄小脳変性症	68人	・ライソゾーム病	8人
・クローン病	96人	・副腎白質ジストロフィー	4人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	10人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1人
・悪性関節リウマチ	9人	・脊髄性筋萎縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	130人	・球脊髄性筋萎縮症	3人
・アミロイドーシス	12人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	10人
・後縦靭帯骨化症	82人	・肥大型心筋症	8人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	84人	・ミトコンドリア病	6人
・ウェゲナー肉芽腫症	19人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	6人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	70人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	32人	・黄色靭帯骨化症	1人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	100人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・胎児心エコー法	・
・腹腔鏡下肝切除術	・
・センチネルリンパ節生検	・
・悪性黒色腫センチネルリンパ節生検	・
・手術時歯根面レーザー応用加算	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	240件/年
部 検 の 状 況	部検症例数 21例 / 部検率 4.80%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
レギュラトリー細胞が歯周組織破壊に及ぼす影響—敵か味方か—	中島 貴子	歯科総合診療部	5,590,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)
食道がん発症リスク因子を確証的に同定するための中国疫学調査の実施	赤澤 宏平	医療情報部	4,160,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)
クローン病狭窄症に対するRNA干渉技術を用いた内視鏡的治療法開発	鈴木 健司	第三内科	780,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
アジアロエリスロポエチンを用いた心血管系再生医療の前臨床基盤研究	鳥羽 健	第一内科	650,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
重症下肢虚血患者に対する体外増幅赤芽球移植による血管新生治療の有効性の検討	小澤 拓也	高次救命災害治療センター	780,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
Brugada症候群の右室流出路伝導異常の検証(リスク階層化への応用)	古嶋 博司	第一内科	130,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
末梢血循環腫瘍細胞を用いた肺癌術後再発予測・オーダーメイド治療の開発	吉澤 弘久	生命科学医療センター(ちけん)	1,040,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
進行期肺癌に対する抗腫瘍免疫再構成を利用した画期的免疫療法の開発	渡部 聡	生命科学医療センター	1,300,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
消化管神経変性の病態解明:環境に近接する神経系へのアプローチ	小澤 鉄太郎	神経内科	650,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
胆管癌における53BP1を介したDNA損傷修復機構の解明及びその臨床的意義	若井 俊文	小児外科	650,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
正常免疫機能を保持した歯髄組織を再生するための分子生物学的研究	金子 友厚	歯の診療室	1,170,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
VF検査に代わる非侵襲的な嚥下検査の構築	木村 慎二	総合リハビリテーションセンター	1,040,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
薬剤性歯肉線維化局所におけるコラゲナーゼインヒビターの役割	久保田 健彦	歯周病診療室	1,690,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
肝細胞核内因子(HNF4 α)の分子病理学的解析	梅津 哉	病理部	1,300,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
肺胞蛋白症におけるGM-CSF吸入治療の効果予測因子の解析	田澤 立之	生命科学医療センター	1,300,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
マクロファージをターゲットとした慢性腎疾患(CKD)治療戦略	池住 洋平	小児科	1,300,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
MRI大脳白質病変より神経症状を予測する数理統計学的方法論の確立	寺島 健史	医療情報部	1,040,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
肝胆膵鏡視下手術におけるAuto-Fluorescence Imagingの応用	皆川 昌広	集中治療部	650,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
歯髄創傷治癒過程でFibrillin-1はどのように細胞分化と石灰化に関与するか	吉羽 永子	歯の診療室	910,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
PCR発症メカニズムの解明と予防法の開発—ラット下顎骨延長モデルを用いた研究—	小林 正治	口腔再建外科診療室	1,170,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
凍結保存歯の歯根膜を再生させて、「歯の移植」の適応症を拡大する	泉 直也	口腔再建外科診療室	1,170,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
低侵襲な顎骨再生をめざして一脂肪組織由来幹細胞を効率よく骨芽細胞に分化させる一	小野 由起子	口腔再建外科診療室	1,820,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
口蓋裂患者における上顎前方移動術後の鼻咽腔閉鎖機能予後予測評価方法の確立	朝日藤 寿一	矯正歯科診療室	390,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
ゲノムメチル化プロファイルによる歯周炎とリウマチの共通発症機序の解明	小林 哲夫	歯科総合診療部	1,170,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
慢性移植腎症の病態解明と早期診断を目的としたバイオマーカーの開発	鈴木 俊明	小児科	1,300,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
悪性神経腫における天然化合物を用いたオートファジーの誘導と薬剤耐性の克服	青木 洋	高次救命災害治療センター	780,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
神経ステロイドと脊髄鎮痛	生駒 美穂	麻酔科	1,040,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
モルヒネ耐性形成後の $\alpha 2$ 受容体作動薬による鎮痛作用機序の解明	石井 秀明	麻酔科	1,170,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
転写因子ATBF1の前立腺癌細胞内局在の分子機構の解明と前立腺癌予後診断への応用	原 昇	泌尿器科	520,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
音響暴露における内耳免疫応答の検討	宮尾 益道	耳鼻咽喉科	650,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
頭頸部痛患者に対する学際的な診断システムの確立	昆 はるか	義歯(入れ歯)診療室	1,040,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
歯限局型低ホスファターゼ症における分子・酵素レベルでの病態解析	沼 奈津子	小児歯科診療室	780,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
メタボリックシンドロームと関連疾患が日常生活動作の低下に及ぼす影響の包括的検討	小幡 裕明	第一内科	1,950,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
特異性心室細動の遺伝的成因と臨床像の関係および遺伝子型に基づく個別化治療の構築	渡部 裕	第一内科	2,340,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
メガリンの細胞内シグナルと尿中逸脱機序の解明	保坂 聖子	第二内科	1,300,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
血栓溶解療法と新規神経保護薬リチウム	高橋 哲哉	神経内科	1,170,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
新規抗精神病薬誘発性メタボリックシンドロームの実態解明ー多施設薬理ゲノム研究ー	須貝 拓朗	精神科	2,080,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
悪性グリオーマ治療により誘導されるオートファジーのリアルタイムモニタリング	矢島 直樹	脳神経外科	1,170,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
唾液腺多形性腺腫における低酸素応答性増殖機構: SM-A P細胞系による解析	丸山 智	病理検査室	1,690,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
菌体外マトリックスをターゲットとした成熟バイオフィルムの制御戦略の確立と臨床応用	若松 里佳	歯の診療室	1,430,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
「捕食」は上半身全体で行う運動である	甲斐 朝子	義歯(入れ歯)診療室	650,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
ヒト歯根膜由来・神経堤幹細胞によるセメント質/歯根膜複合体再生法の開発	加来 賢	義歯(冠・ブリッジ)診療室	1,820,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
咀嚼筋および頸部筋の疲労が全身のバランスに及ぼす影響について	金城 篤史	義歯(入れ歯)診療室	780,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
発達期における嚥下誘発機構の解明ー水刺激や味覚刺激は発達期の嚥下誘発に有効かー	梶井 友佳	摂食・嚥下機能回復部	1,690,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
萌出遅延歯の臨床像と被覆歯肉の遺伝子発現の調査による分子的メカニズムの解明	飯澤 二葉子	小児歯科診療室	650,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
新規歯周組織形成細胞マーカーによる歯周組織再生過程	河野 承子	小児歯科診療室	1,170,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
女性ホルモン減少は、口腔乾燥症の一因となりうるか?	伊藤 加代子	加齢歯科診療室	650,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
トリプトファン水酸化酵素2遺伝子が統合失調症の発症脆弱性に果たす役割	布川 綾子	精神科	1,469,000	補 委 研究費助成事業(科学研究費補助金)研究活動スタート支援
顎変形症患者の顔貌に対する認識を分析する-アイトラッキング法と質的評価の応用-	加藤 祐介	口腔再建外科診療室	1,235,000	補 委 研究費助成事業(科学研究費補助金)研究活動スタート支援
電子カルテからのダイレクトリスクマイニングの試み	鳥谷部 真一	医療安全管理部	2,210,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)
重大外傷をアウトカムとした転倒転落リスクアセスメントツールの開発	鳥谷部 真一	医療安全管理部	650,000	補 委 研究費助成事業(科学研究費補助金)挑戦的萌芽研究
ピエゾセンサーを用いた簡便な嚥下機能評価システムの開発	敦井 智賀子	義歯(入れ歯)診療室	1,417,000	補 委 研究費助成事業(科学研究費補助金)研究活動スタート支援
アスリートを対象とした運動誘発性喘息の診断とその治療効果	鈴木 栄一	医科総合診療部	151,200	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
IgA腎症におけるメサングウム細胞へのIgA沈着メカニズムの解明と治療への応用	金子 佳賢	第二内科	2,470,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
歯槽骨生検法を用いた骨粗鬆症の超早期発見法の確立	三上 絵美	義歯(入れ歯)診療室	1,690,000	補 委 研究費助成事業(科学研究費補助金)研究活動スタート支援
歯肉増殖症歯肉におけるTNF- α 変換酵素とそのインヒビターの役割	阿部 大輔	歯周病診療室	1,560,000	補 委 研究費助成事業(科学研究費補助金)研究活動スタート支援
GCF中のタンパク質から歯肉増殖症の病態を探る	清水 太郎	歯周病診療室	1,690,000	補 委 研究費助成事業(科学研究費補助金)研究活動スタート支援
ゲノムワイド疾患関連遺伝子同定のための遺伝統計学手法の開発	赤澤 宏平	医療情報部	700,000	補 委 研究費助成事業(科学研究費補助金)特別研究員奨励費
マウスを用いた運動誘発性気管支喘息モデルの作成とその解析	鈴木 栄一	医科総合診療部	5,200,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
致死性虚血性不整脈の予測因子の確立および原因遺伝子同定による病態解明と治療構築	佐藤 光希	第一内科	4,810,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
体表面標準心電図による心内の三次元的再分極分布と不整脈リスクの評価	和泉 大輔	第一内科	4,940,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
慢性腎臓病患者における骨質構成要因の探索	風間 順一郎	血液浄化療法部	2,730,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
中枢神経系脱髄疾患におけるI型インターフェロンの動態とその制御機構の解析	河内 泉	神経内科	5,460,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
統合失調症多発罹患家系において見出された稀もしくは長大なコピー数多型の関連研究	金子 尚史	精神科	5,330,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
アディポカインと糖尿病関連遺伝子を用いた抗精神病薬誘発性糖脂質代謝異常発症の予測	鈴木 雄太郎	精神科	5,070,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
胆嚢癌における確証的なリンパ節転移分類法の確立を目指して	坂田 純	第一外科	3,900,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
変形性関節症の関節マーカーの可能性と限界～縦断的大規模住民検診より～	山際 浩史	整形外科	5,590,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
脊髄再生は運動および感覚機能を正常に回復できるか？脊髄機能モニタリングによる解析	飛田 俊幸	麻酔科	5,200,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
神経障害性疼痛にケタミンが効く機序の解明	高松 美砂子	麻酔科	4,810,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
Dual Energy CTイメージングによる顎骨骨髄微小循環描出の試み	田中 礼	画像診断・診療室	4,940,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
Tooth Wear(咬耗)の診断基準策定のための生理的磨耗と象牙質露出調査	石崎 裕子	歯科総合診療部	5,200,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
歯槽骨の骨構造変化を指標とした骨粗鬆症診断法の開発ー歯科臨床からのアプローチー	田中 みか子	義歯(入れ歯)診療室	5,200,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
培養口腔粘膜上皮細胞とハイドロゲルのミックス材を用いた皮膚創傷治療効果の検証	安島 久雄	顎顔面外科診療室	5,200,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
fNIRSを用いて口蓋裂言語を光脳機能学的に解析する	児玉 泰光	顎顔面外科診療室	3,120,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
多血小板血漿を歯の移植に応用する-in vivoとin vitroの検討-	新美 奏恵	地域保健医療推進部	5,330,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
培養骨膜細胞による歯槽骨再生Phase II臨床試験と将来の無血清化への基礎的検討	星名 秀行	インプラント治療部	5,070,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
歯胚移植術を用いた歯髄形成過程における歯髄幹細胞とWntシグナルの役割の解明	大島 邦子	小児歯科診療室	5,070,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
炎症性腸疾患における新規病勢マーカーの開発	中田 光	生命科学医療センター	3,640,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的
緑内障ステント手術の開発と線維柱帯の組織学的変化に関する研究	上田 潤	眼科	3,640,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的
ハイドロダイナミック遺伝子導入法による非ヒト霊長類への遺伝子治療	上村 顕也	第三内科	4,420,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝内胆管癌発癌過程におけるL-1-カドヘリンの役割と早期診断への応用	高村 昌昭	第三内科	4,030,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
新規HTRA1点変異ヘテロ接合体における脳小血管病の病態機序の解明	野崎 洋明	神経内科	3,770,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
難聴モデルマウスを用いた聴覚野周波数マップの研究:耳鳴の積極的予防を目指して	窪田 和	耳鼻咽喉科	4,550,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
メカノレセプターとしてのプライマリー・シリアによる歯根膜維持機構	加来 咲子	義歯(冠・ブリッジ)診療室	4,290,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
骨粗鬆症患者へのインプラント適用を目的としたエピジェネティクスによる骨代謝制御	秋葉 奈美	義歯(冠・ブリッジ)診療室	4,160,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
抗アポトーシスタンパクHSP27の細胞内導入法を用いた効果的な骨造成法の開発	川崎 真依子	義歯(冠・ブリッジ)診療室	4,160,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
咬合は形成過程の歯根に影響するか?	中曽根 直弘	歯周病診療室	3,900,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
IL-17と歯周病原細菌との相互作用から探る歯周炎病態メカニズム	本田 朋之	歯周病診療室	4,290,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
歯周炎および喫煙がIL-6遺伝子プロモーター領域のゲノムメチル化に及ぼす影響	両角 俊哉	歯周病診療室	4,160,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
歯周病原細菌感染度と腎機能の関連-歯周病が慢性腎臓病に与える影響の解明-	岩崎 正則	予防歯科診療室	3,770,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
嚥下惹起をもたらず物性条件	谷口 裕重	摂食・嚥下機能回復部	4,290,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
随意嚥下および反射性嚥下に対する味覚刺激効果	矢作 理花	加齢歯科診療室	4,290,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
遺伝性脳小血管病の病態機序の解明と治療法の開発	小野寺 理	神経内科	13,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
細胞内膜構造に注目した運動神経病の画期的な治療法の開発	小野寺 理	神経内科	21,250,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
希少性難治性疾患患者に関する医療の向上及び患者支援のあり方に関する研究	西澤 正豊	神経内科	97,500,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
治験の実施に関する研究[サリドマイド]	西澤 正豊	神経内科	1,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
天然変性タンパク質の機能解析によるALSの病態機序の解明	小野寺 理	神経内科	2,990,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究(研究領域提案型)
TDP43の生理機能に注目したALSの病態機序の解明	西澤 正豊	神経内科	10,400,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(A)
fMRI Guided NIRSによる皮質下片麻痺治療法の開発	藤井 幸彦	脳神経外科	2,990,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(A)
脳小血管障害の病態機序の解明:CARASILの病態機序からのアプローチ	小野寺 理	神経内科	4,680,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新規脳梗塞治療戦略としての選択的VEGF抑制療法の確立	下畑 享良	神経内科	650,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)
TDP43の病態機序に基づいたALSの血中バイオマーカーの単離	小野寺 理	神経内科	1,690,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
Cajal小体に注目したALSの病態メカニズムの解明	横関 明男	神経内科	1,820,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
オリゴマー形成阻害を標的としたポリグルタミン病の新規治療薬の開発	他田 正義	神経内科	4,290,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
先進的3次元工学技術を基盤とした実体験型脳神経手術シミュレーションシステムの開発	大石 誠	脳神経外科	1,430,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
炎症による血液脳関門の破綻を転機としたCARASIL病態発症機序の解析	加藤 泰介	神経内科	800,000	補 委 研究費助成事業(科学研究費補助金)特別研究員奨励費
ヒト脳腫瘍サンプルにおけるオートファジーモニタリングと組織学的検討	棗田 学	脳神経外科	650,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
ALSにおけるsnRNA異常の患者組織毎の検討	石原 智彦	神経内科	1,690,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)研究活動ス
糖鎖表出を指標とした肝癌治療戦略	青柳 豊	内科学第三	3,640,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)
糖鎖不全IgAに対する新規受容体の同定と解析によるIgA腎症発症機序の解明	成田 一衛	内科学第二	4,030,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)
PDD・ARMSの有病率に関する大規模調査と長期追跡による生物学的マーカーの探索	染矢 俊幸	精神医学	1,170,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)
臓器移植における再生間葉系肝幹細胞門脈内投与による新たな免疫寛容誘導法の確立	佐藤 好信	外科学第一	3,510,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)
上皮間葉移行誘導の分子機構解析による上皮性卵巣がんの浸潤・転移の病態解明	田中 憲一	産婦人科学	2,860,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)
新たな神経可塑性の検討と可塑性を考慮した末梢神経修復成績向上への研究	柴田 実	形成外科学	5,460,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)
腎症状を呈する新規ファブリー病モデルマウスの病態の解析と応用	丸山 弘樹	腎医学医療センター	5,200,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)
両側同時経頭蓋イメージングを用いた新たな聴覚野機能の解明	高橋 姿	耳鼻咽喉科学	17,290,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)
肝移植後のC型肝炎重症化機序におけるNK細胞の重要性と肝内免疫環境の解析	山際 訓	内科学第三	1,040,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
近位尿管細管エンドサイトーシスの分子機構と慢性腎臓病の発症機序における病的役割	斉藤 亮彦	機能分子医学	1,430,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
遺伝子改変NK細胞の難治性白血病への臨床応用に向けた研究	今井 千速	小児科学	1,040,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
フラクタル解析を用いた自閉脳スクリーニング法の開発	北村 秀明	精神医学	130,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脳腫瘍への放射線照射後における認知機能低下の病態解明と早期予測診断法の開発	青山 英史	放射線医学	780,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
消化管間質腫瘍(GIST)におけるKITキナーゼ耐性クローンの多様性に関する研究	神田 達夫	外科学第一	390,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
胆嚢癌におけるリンパ管を介した肝内進展様式の解明	白井 良夫	外科学第一	520,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
前立腺癌に対する細胞内アンドロゲン抑制療法の開発	西山 勉	泌尿器科学	130,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
制御性T細胞とTh17を標的とした心血管炎症性疾患の治療	小玉 誠	内科学第一	1,300,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
傷害を受けた糸球体上皮細胞に発現するトランスゲリンの機能と発現メカニズムの解明	坂爪 実	内科学第二	910,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
血液中25OHD不足は脊椎骨折、続いて大腿骨頸部骨折をおこすか?	遠藤 直人	整形外科学	1,560,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
肥満が子宮体癌の発症・進展に関与する新たな分子機構の解明	八幡 哲郎	産婦人科学	1,430,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
ピンポイント照射法を用いた極低侵襲レーザー治療装置の基礎	坂村 律生	形成外科学	650,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
テロメラーゼ特異的制限増殖型アデノウイルスによる骨軟部肉腫に対するウイルス療法	川島 寛之	整形外科学	1,820,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(A)
マウス経頭蓋イメージングを用いた大脳聴覚野機能の解明	高橋 邦行	耳鼻咽喉科学	650,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
Cajal小体に注目したALSの病態メカニズムの解明	横関 明男	臓器連関研究センター	1,820,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
耳朶皺裂の評価者間一致率および心血管病との関連についての検討	若杉 三奈子	臓器連関研究センター	4,550,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
小細胞肺癌に対する癌幹細胞特異的蛋白質を標的とした新規抗腫瘍免疫療法の開発	各務 博	内科学第二	5,200,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
全ゲノム解析による家族性IgA腎症の原因遺伝子の探索	後藤 眞	内科学第二	5,200,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
アルポート症候群新規モデルマウスの作出と新たな分子病態の実証および治療法の開発	小林 武弘	小児科学	5,200,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
日本人一般住民における深部静脈血栓の頻度及び地域差の調査	榛沢 和彦	外科学第二	5,200,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
プレギャバリン・ガバペンチンの本当の作用機序	馬場 洋	麻酔科学	3,250,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
緑内障の視神経乳頭部における細胞・細胞外マトリックス構造のインターアクション	福地 健郎	眼科学	5,330,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
フット8コンディショナルノックアウトマウスを用いた肝癌悪性化責任分子の同定	青柳 豊	内科学第三	3,640,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新たな解析システムによるIgA腎症の原因探索	成田 一衛	内科学第二	3,510,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的
ストレスは創傷治癒を遷延させ、抗ストレス薬は治癒を促進させ得る	宮田 昌幸	形成外科学	2,340,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的
神経成長円錐の新しい分子マーカーによる神経再生・可塑性発現メカニズムの検討	柴田 実	形成外科学	3,640,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的
骨-人工材料もしくは骨-骨間インターフェース改善に関する新技術の確立	松田 純平	整形外科学	4,550,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
ミラーニューロン障害仮説に基づく自閉症スペクトラム障害の早期診断マーカーの探索	遠藤 太郎	精神医学	4,030,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
薬理ゲノム学的手法を用いたオランザピン誘発性糖代謝異常のメカニズム探索	福井 直樹	精神医学	4,420,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
CRPSにおけるアクアポリン1の役割について	PETRENKO ANDREY	麻酔科学	4,420,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
上皮性卵巣癌におけるCopy-neutral LOH解析	吉原 弘祐	産婦人科学	4,680,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
カテゴリー知覚を用いた正常～軽度難聴高齢者の聴覚時間分解能の検討	相澤 直孝	耳鼻咽喉科学	4,290,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
プロスタグランジンレセプターを介したアスピリン誘発性喘息の研究	小屋 俊之	内科学第二	390,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
咬合力による骨組織改造の高精度予測	魚島 勝美	生体歯科補綴学(2補綴)	2,600,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)
新規歯周組織再生治療法開発につながる培養骨膜と基材に関する基礎的研究	奥田 一博	歯周診断・再建学(2保存)	3,250,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)
加齢に伴う腎機能の低下が骨代謝および歯周疾患に及ぼす影響の解明	葭原 明弘	予防歯科学(予防歯)	2,470,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)
歯周炎・リウマチにおけるIL-6エピジェネティクス病因論の確立	吉江 弘正	歯周診断・再建学(2保存)	6,370,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)
幹細胞移植による歯髄再生療法創生を目指すスキャホールドの開発と動物モデルの確立	興地 隆史	う蝕学(1保存)	8,450,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)
三叉神経障害性疼痛発生機序の網羅的解析	瀬尾 憲司	歯科侵襲管理学(麻酔科)	5,980,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)
ヒト免疫不全ウイルス感染者の病態把握における唾液検査の実用化	高木 律男	顎顔面口腔外科学(2外科)	8,970,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)
象牙質・歯髄複合体の修復再生機構の解明ー組織培養法を用いた歯髄細胞の動態解析ー	吉羽 邦彦	う蝕学(1保存)	780,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
Bluetooth規格及び無線USB規格伝送による補綴治療時歯科医師姿勢の遠隔連続測定	小林 博	包括歯科補綴学(1補綴)	1,040,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
日本人睡眠時無呼吸症候群患者に対する上下顎骨前方移動術の適用基準を確立する	齊藤 力	組織再建口腔外科学(1外科)	910,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
口腔癌とその周囲に拡がる異型上皮の段階的なエピジェネティック変化を検索する	藤田 一	顎顔面口腔外科学(2外科)	910,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
高齢者の口腔と全身の健康に関するフォローアップ研究	宮崎 秀夫	予防歯科学(予防歯)	1,560,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
ケイ酸カルシウム系生体機能性セメントの開発とう蝕象牙質再石灰化能の探索	児玉 臨麟	う蝕学(1保存)	1,040,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
在宅高齢者に対するピエゾセンサーを用いた遠隔嚥下機能評価訓練システムの開発	櫻井 直樹	包括歯科補綴学(1補綴)	650,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
再生組織/細胞製品出荷前の非侵襲・リアルタイム検査による品質管理システムの開発	飯田 明彦	顎顔面口腔外科学(2外科)	1,430,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
破壊靱性値を指標とした乳歯エナメル質のバイオメカニクスの特性-永久歯との比較-	坂井 幸子(林幸子)	小児歯科学(小児歯)	780,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
習慣性咀嚼に対する骨リモデリングシミュレーションによる上下顎骨偏位パターンの確立	齋藤 功	歯科矯正学(矯正)	780,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
仮説:歯列咬合状態から捕食動作は推察できる	早崎 治明	小児歯科学(小児歯)	1,040,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
歯垢バイオフィルムの細菌動態に着目した初期齲蝕モニタリングシステム	松山 順子	小児歯科学(小児歯)	910,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
核内レセプターPPARガンマー遺伝子多型の歯周炎・早産・肥満リスク	吉江 弘正	歯周診断・再建学(2保存)	780,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)挑戦的萌芽研
骨膜非剥離小規模骨増成法の新規開発	魚島 勝美	生体歯科補綴学(2補綴)	1,040,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)挑戦的萌芽研
QX-314を応用した新たな疼痛管理法への展開	瀬尾 憲司	歯科侵襲管理学(麻酔科)	910,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)挑戦的萌芽研
舌圧が食塊移送に与える影響について~補綴装置を用いた食塊移送のコントロール~	堀 一浩	摂食・嚥下リハ(加齢)	1,430,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
エピジェネティクス制御を用いた細胞工学的手法による新規骨造成法の開発	秋葉 陽介	生体歯科補綴学(2補綴)	1,040,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
捕食時の開口運動に関する研究~加齢・歯の喪失・義歯が与える影響~	佐藤 直子(五十嵐直子)	包括歯科補綴学(1補綴)	650,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
骨再生バイオマテリアルと間葉系幹細胞併用による骨再生向上の細胞学的解明	小島 拓	組織再建口腔外科学(1外科)	1,560,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
より活性の高い凍結培養粘膜の開発 -口腔粘膜上皮前駆・幹細胞の確立と解明-	小山 貴寛	顎顔面口腔外科学(2外科)	1,430,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)若手研究(B)
64列MDCT perfusionによる潜在的頸部転移リンパ節可視化の試み	林 孝文	顎顔面放射線学	4,940,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
自律神経系は咀嚼筋のT2値に関与するのか?	西山 秀昌	顎顔面放射線学	5,070,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
菌体外マトリックスを標的とした成熟バイオフィルム制御のための多角的アプローチ	竹中 彰治	う蝕学(1保存)	5,330,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
安定した高い粘膜再生能を有する培養粘膜の開発ー口腔粘膜上皮前駆／幹細胞の応用ー	芳澤 享子	組織再建口腔外科学(1外科)	5,200,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
ヒト口腔顔面の末梢神経障害に対する水分子状態をとらえたMR生体病理イメージング	照光 真	歯科侵襲管理学(麻醉科)	5,330,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
新規歯根形成細胞マーカーによる歯根形成・吸収機構の解析～抗がん剤投与モデル～	三富 智恵	小児歯科学(小児歯)	5,070,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
8020達成後の歯数維持に関するコホート研究	廣富 敏伸	予防歯科学(予防歯)	5,070,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
歯の再植後の置換性歯根外部吸収発症機構の解明と歯根膜再生療法への展開	興地 隆史	う蝕学(1保存)	3,640,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的
嚥下中枢の三叉神経支配を検証する	井上 誠	摂食・嚥下リハ(加齢)	3,640,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的
舌癌の後発リンパ節転移のスクリーニングー口底のバリアー欠損は転移ルートかー	斎藤 美紀子	顎顔面放射線学	1,690,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
半導体レーザーによる歯髄内硬組織形成ー非コラーゲン蛋白の局在と遺伝子発現解析ー	重谷 佳見	う蝕学(1保存)	4,160,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
顎関節滑膜組織における疼痛の発現とその調節機構の解明	池田 順行	顎顔面口腔外科学(2外科)	4,160,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
機械受容器におけるTRPM8の発現を指標にした歯の移動時に生じる痛みの発現機序	原田 史子	歯科矯正学(矯正)	4,030,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
嚥下調節機構における摂食関連ペプチドの役割とその発達に関する研究	中村 由紀	摂食・嚥下リハ(加齢)	4,290,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
歯周病原細菌によるTregからTh17への転換は破骨細胞形成を促進するか？	奥井 隆文	歯周診断・再建学(2保存)	4,160,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
メタボリック症候群はGCF中のアディポサイトカインを介して歯周炎を増悪させるか？	島田 靖子	歯周診断・再建学(2保存)	4,290,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
新しく確立されたT細胞サブセットT(FH)は歯周炎に関与するか	伊藤 晴江	歯周診断・再建学(2保存)	3,900,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
ミュータンス菌の遺伝子検査法の臨床応用	金子 昇	予防歯科学(予防歯)	3,900,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
咀嚼時の嚥下抑制機構を解明する	辻村 恭憲	摂食・嚥下リハ(加齢)	4,160,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
2型糖尿病患者のCKD病態に対する抗菌的歯周治療の有用性に関する無作為化比較試験	小川 祐司	予防歯科学(予防歯)	5,070,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
理論的基盤と臨床実践とを統合する新しい医療倫理学の方法論についての研究	宮坂 道夫	看護学	7,800,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(A)
不妊治療を受ける女性の気の流れを診断しケアの処方につながる看護の探求	佐山 光子	看護学	1,040,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
MRIを用いたヒト海綿骨の3次元構造および力学的性質の評価に関する研究	坂本 信	放射線技術科学	1,170,000	補委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
DNA二重鎖傷害早期応答因子に着目した肝癌リスク予測マーカーの開発	松田 康伸	検査技術科学	910,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
Ⅲ群・Ⅳ群抗不整脈薬のTdp誘発閾値と即効的治療(心臓立体マッピングによる検証)	池主 雅臣	検査技術科学	1,170,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
豪雪地帯の応急仮設住宅で生活した高齢被災者の身体機能とストレス～5年継続評価	齋藤 君枝	看護学	1,170,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
多職種による包括的アプローチ法を土台とした転倒予防プログラムの開発	加藤 真由美	看護学	1,560,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
長期医療管理を要する子どもに対する家族の感情コーチングへの看護援助	渡邊 タミ子	看護学	780,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
若年性乳がん女性における患者一性役割間の葛藤構造を基盤とした治療継続支援の開発	内山 美枝子	看護学	910,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
がんと認知症をともに持つ高齢者に対する緩和ケア評価指標の開発	坂井 さゆり	看護学	1,170,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
下肢関節における3次元荷重伝達機構の生体内測定	小林 公一	放射線技術科学	910,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
小児がん患児・保護者と看護師のための食支援ヘルス・リテラシー・サイトの開発	住吉 智子	看護学	1,430,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
大規模離島インフルエンザ発症登録システムの活用による学童の流行期生活行動変容効果	関 奈緒	看護学	1,040,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
中学生・高校生を持つ親の統合失調症に関する意識調査と教育啓発メディアの開発	吉井 初美	看護学	1,170,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
医用X線源を用いた2色X線CTによる電子密度計測	齋藤 正敏	放射線技術科学	390,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
子ども虐待実践事例の集積と看護実践への適用に関する研究	小林 恵子	看護学	910,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)
移植に向けた肝臓の種を作る試み	平野 茂樹	検査技術科学	520,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)挑戦的萌芽研
精神科入院患者の身体合併症対策についての官民共同システムの構築に関する研究	中村 勝	看護学	260,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)挑戦的萌芽研
気象情報を活用したワンダリング高齢者の安全な生活実現	青木 菫子	看護学	1,170,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)挑戦的萌芽研
全く新しい方法による標的mRNA切断を応用した腫瘍に対する新規核酸医薬の開発	成田 美和子	検査技術科学	5,070,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
性差に基づいた自己免疫性肝炎の発症と肝内樹状細胞との関連性について	富山 智香子	検査技術科学	3,900,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
国立大学法人の「性差保健」研究による地域貢献のあり方についての省察的実践研究	西原 亜矢子	保健学科	1,690,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
ポリグルタミン病ヒト疾患脳における重合体毒性の証明と治療薬開発	高橋 俊昭	検査技術科学	5,070,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
局所脳機能への麻酔作用の画像解析とその動画ライブラリーの構築	藤原 直士	検査技術科学	5,460,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
マンモグラフィ受検者の『心身緊張を自ら軽減する』ケアプログラムの構築	李 鎔範	放射線技術科学	5,200,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
子育て期早期の女性の身体的健康と睡眠	関島 香代子	看護学	5,070,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
相互情報量によるデジタル医用画像の総合的画質評価法の確立	佐井 篤儀	放射線技術科学	4,680,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
肺がんCT診断支援システムに適する画質への画像変換法の開発	大久保 真樹	放射線技術科学	2,080,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研
出生直後の新生児と母親の相互コミュニケーション手法の開発	石田 真由美	看護学	4,160,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
在宅重症心身障害児を育てる家族の育児への意欲を支える看護支援プログラム開発	田中 美央	看護学	4,030,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研
面会回数や時間の制限がないICUにおける重症患者家族のニーズの構造	岩佐 有華(兼有華)	看護学	780,000	補 委 日本学術振興会科学研究費助成事業(科学研究費補助金)研究活動ス
医療機関受診者を対象として高齢者骨折の実態調査に関する研究	遠藤 直人	整形外科	4,640,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
安全な生殖補助医療を行うための精液よりのHIVウイルス分離法の確立	田中 憲一	産科婦人科	10,483,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
国内外の歯科補綴物の実態に関する研究	宮崎 秀夫	予防歯科学	6,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
小児臓器移植前後におけるワクチン接種の安全性と有効性に関する研究	齋藤 昭彦	小児科学	9,100,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
関東・甲信越地方ブロックエイズ対策促進事業における調査研究事業	田邊 嘉也	感染管理部	12,615,000	補 委 新潟県
エイズ治療拠点病院治療促進事業における調査研究事業	田邊 嘉也	感染管理部	230,000	補 委 新潟県
急性期脳卒中の内科的治療効果の検証に関する研究	赤岩 靖久	神経内科	1,000,000	補 委 独立行政法人国立循環器病研究センター
水俣病における合併症の疫学調査と、血管内皮成長因子(VEGF)による神経・血管保護作用	下畑 享良	神経内科	2,000,000	補 委 新潟県
遺伝性血管性認知症の病態の解明	小野寺 理	神経内科	3,000,000	補 委 独立行政法人国立長寿医療研究センター
新潟地域におけるパーキンソン病ブレインバンクドナー登録の推進	西澤 正豊	神経内科	1,000,000	補 委 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
オプティカル・イメージング技術に応用した培養骨膜シート検体の非破壊的品質評価のための標準化技術	吉江弘正	歯周診断・再建学(2保存)	595,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
インターネットを利用した遠隔嚥下障害リハビリテーション支援デバイス開発	櫻井直樹	包括歯科補綴学	1,700,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
舌圧センサシートを用いた嚥下機能評価アルゴリズムの構築	堀 一浩	摂食・嚥下リハビリテーション学(加齢)	1,700,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
持続的発展を見据えた分子追跡放射線治療装置の開発	青山英史	放射線学	500,000	補 委 国立大学法人北海道大学
ゲノム全域関連解析による子宮内腹症感受性遺伝子の同定	田中憲一	産科婦人科学	3,000,000	補 委 文部科学省研究振興局
アクアポリン-4の中中枢神経疾患への関与一視神経炎の治療法の検討(5)	阿部春樹	眼科学	2,000,000	補 委 新潟県
中枢性めまいにおける眼球運動の検討	高橋姿	耳鼻咽喉科学	2,000,000	補 委 新潟県
地域保健における歯科疾患の予防	宮崎秀夫	予防歯科学(予防歯)	939,000	補 委 弥彦村
成人歯科ポピュレーションストラテジー普及事業	宮崎秀夫	予防歯科学(予防歯)	661,584	補 委 新潟県
条例推進重点市町村支援事業における実態調査の集計・分析委託	宮崎秀夫	予防歯科学(予防歯)	187,200	補 委 新潟県
舌清掃の味覚改善効果に関する研究	井上誠	摂食・嚥下リハビリテーション学(加齢)	940,958	補 委 新潟県
病院における新人看護職員研修・看護職員確保への取組状況と実態調査の分析	関井愛紀子	看護学	150,000	補 委 新潟県
高刺通性次世代型縫合針低コスト化のための超精密プレス研削複合機の開発	柴田実	形成外科学	6,159,300	補 委 財団法人いがた産業創造機構
がん治療用sgRNA薬スクリーニングシステムの開発	高橋益廣	検査技術科学	1,300,000	補 委 学校法人新潟科学技術学園 新潟薬科大学
チロシンキナーゼ阻害剤による有効ながん治療の実用化に関する研究	西條康夫	総合医学教育センター 先端医学教育研究部門腫瘍学分野	1,000,000	補 委 文部科学省研究振興局

計13

合計
253

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Hematol. 2011; 93(5): 684-6.	Does more intensive therapy have effects on mantle cell lymphoma? A clinical experience from the Lymphoma Treatment Study Group in Japan.	Miura K, Takasaki H, <u>Takizawa J</u> , et al.	血液・内分泌・代謝内科
Jpn J Ophthalmol. 2011; 55(3): 304-6.	Multifocal mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma associated with IgG4-related disease: a case report.	Oyama T, <u>Takizawa J</u> , et al.	血液・内分泌・代謝内科
日本内科学会雑誌 2011; 100(7): 2008-2014	日本発臨床研究の紹介と反省点を語る Evaluation of the Prospective Observation of erythropoietin-administration for the treatment of Acute Myocardial Infarction (EPO/AMI-1) Study	鳥羽健、他	血液・内分泌・代謝内科
Heart Vessels. 2012; 27(1): 38-45.	Hypocellularity and insufficient expression of angiogenic factors in implanted autologous bone marrow in patients with chronic critical limb ischemia.	Oda M, <u>Toba K</u> , et al.	血液・内分泌・代謝内科
Mol Ther. 2011; 19(7): 1287-94.	Long-term regulation of genetically modified primary hematopoietic cells in dogs.	<u>Okazuka K</u> , Beard BC, et al.	血液・内分泌・代謝内科
Int J Lab Hematol. 2011 33(4): 378-90.	Kinetics of pDCs, mDCs, γ δ T cells and regulatory T cells in association with graft versus host disease after hematopoietic stem cell transplantation.	Watanabe N, Narita M, <u>Masuko M</u> , <u>Toba K</u> , et al.	血液・内分泌・代謝内科
Intern Med. 2011; 50(6): 621-5.	Successful remission of Evans syndrome associated with Graves' disease by using propylthiouracil monotherapy.	<u>Ushiki T</u> , <u>Masuko M</u> , <u>Toba K</u> , et al.	血液・内分泌・代謝内科
Intern Med. 2011;50(5):481-5.	Myelodysplastic syndrome with Ph negative monosomy 7 chromosome following transient bone marrow dysplasia during imatinib treatment for chronic myeloid leukemia.	Karimata K, <u>Masuko M</u> , et al.	血液・内分泌・代謝内科
臨床血液 2011 52(12) 1896-1899	寛解導入療法中にたこつぼ型心筋症を発症し、心原性ショックを来した急性骨髄性白血病	牛木隆志、新國公司、他	血液・内分泌・代謝内科
臨床血液 2012 53(1) 97-104	自己免疫性肝炎による門脈圧亢進症症例にall-trans-retinoic acidが有効であった急性前骨髄球性白血病	牛木隆志、新國公司、他	血液・内分泌・代謝内科
Internal Medicine	An appropriate defibrillation threshold obtained by the cobined connection between two shock leads and ICD generator	佐藤光希	循環器内科
Am J Cardiol	Comparison of patients with pulmonary arterial hypertension with versus without right-sided mechanical alternans.	伊藤正洋	循環器内科
Circ Arrhythm Electrophysiol	Electrocardiographic characteristics and SCN5A mutations in idiopathic ventricular fibrillation associated with early repolarization.	渡部裕	循環器内科
J Interv Card Electrophysiol	Relationship between electroanatomical voltage mapping characteristics and breakout site of ventricular activation in idiopathic ventricular tachyarrhythmia originating from the right ventricular outflow tract septum.	古嶋博司	循環器内科
Circ J	Association between lipid profile and risk of atrial fibrillation.	渡部裕	循環器内科
Europace	Intramural inflammation as a cause of transient ST-segment elevation in a patient of cardiac sarcoidosis.	飯嶋賢一	循環器内科
Internal Medicine	Endocardial arrhythmogenic mechanisms of torsades de pointes in patients with the congenital long QT syndrome.	池主雅臣	循環器内科
Resuscitation	Clinical and cardiac features of patients with subarachnoid haemorrhage presenting with out-of-hospital cardiac arrest.	三間渉	循環器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Internal Medicine	Inappropriate pacing inhibition triggered by QT prolongation due to T wave oversensing in an ICD recipient presenting with long QT syndrome.	飯嶋賢一	循環器内科
Pacing Clin Electrophysiol	Epicardial scar in a patient with no apparent heart disease.	池主雅臣	循環器内科
Mol Immunol	Free heme is a danger signal inducing expression of proinflammatory proteins in cultured cells derived from normal rat hearts.	羽尾	循環器内科
J Cardiovasc Electrophysiol	Brugada-type ST-segment elevation influenced by postesophageal reconstruction.	池主雅臣	循環器内科
Pacing Clin Electrophysiol	Characteristics of j wave-associated idiopathic ventricular fibrillation: role of drugs.	池主雅臣	循環器内科
Heart Vessels	Hypocellularity and insufficient expression of angiogenic factors in implanted autologous bone marrow in patients with chronic critical limb ischemia.	小田雅人	循環器内科
Hypertens Res	Role of mineralocorticoid receptor on atrial structural remodeling and inducibility of atrial fibrillation in hypertensive rats.	木村新平	循環器内科
J Clin Immunol.	IL-1 receptor accessory protein-Ig/IL-1 receptor type II-Ig heterodimer inhibits IL-1 response more strongly than other IL-1 blocking biopharmaceutical agents	埴晴雄	循環器内科
J Cardiovasc Electrophysiol	Ventricular tachycardia due to intramyocardial fibroma.	飯嶋賢一	循環器内科
Circ J	Effects of combination therapy with warfarin and bucolome for anticoagulation in patients with atrial fibrillation.	小幡裕明	循環器内科
J Electrocardiol	Preexcitation unmasks J waves: 2 cases.	長尾智美	循環器内科
J Cardiovasc Electrophysiol	Catheter ablation of ventricular tachycardias due to forward and reverse propagation across a reentrant circuit inside a nonischemic biventricular aneurysm.	池主雅臣	循環器内科
Hypertension	Agonist-independent constitutive activity of angiotension II receptor promotes cardiac remodeling in mice	南野徹	循環器内科
Cell Metab	p53-induced adipose tissue inflammation is critically involved in the development of insulin resistance in heart failure	南野徹	循環器内科
Am J Hypertens	Aldosterone does not contribute to renal p21 expression during development of angiotension II-induced hypertension in Mice	南野徹	循環器内科
Plos One	In vivo tracking of transplanted mononuclear cells using manganese-enhanced magnetic resonance imaging	南野徹	循環器内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol	Role of JAGGED1 in arterial lesions after vascular injury	南野徹	循環器内科
J Gastroenterol Hepatol, 2011 Apr; 26(4):615-6.	EDITORIAL, History and recent progress in evaluation of the fucosylated alpha-fetoprotein fraction.	Aoyagi Y, Tamura Y, Suda T	第三内科
J. Hepatol. 2012 Feb; 56(2):381-8.	Reduced NKG2D ligand expression in hepatocellular carcinoma correlates with early recurrence.	Kamimura H, Yamagiwa S, Tsuchiya A, Takamura M, Matsuda Y, Ohkoshi S, Inoue M, Wakai T, Shirai Y, Nomoto M, Aoyagi Y	第三内科
Dig Dis Sci. 2012 Jan;57(1):119-26.	Contributing Factors to Gastric Ulcer Healing After Endoscopic Submucosal Dissection Including the Promoting Effect of Rebamipide.	Kobayashi M, Takeuchi M, Hashimoto S, Mizuno KI, Sato Y, Narisawa R, Aoyagi Y	第三内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepatogastroenterology. 2011 May-Jun;58(107-108):965-70.	Failure to achieve 2-log10 viral decrease in first four weeks of peg-IFNalpha-2b plus ribavirin therapy for chronic hepatitis C with genotype 1b and high viral titer is useful in predicting non-response: evaluation of response-guided therapy.	Ohkoshi S, Yamagiwa S, Yano M, Takahashi H, Aoki YH, Waguri N, Igarashi K, Sugitani S, Takahashi T, Ishikawa T, Kamimura T, Wakabayashi H, Watanabe T,	第三内科
Hum Pathol. 2011 Nov 10. [Epub ahead of print]	Relationship between alpha-methylacyl-coenzyme A racemase expression and mucin phenotype in gastric cancer.	Nozawa Y, Nishikura K, Ajioka Y, Aoyagi Y.	第三内科
Gastrointest Endosc. 2011 Dec;74(6):1389-93.	The efficacy of endoscopic triamcinolone injection for the prevention of esophageal stricture after endoscopic submucosal dissection.	Hashimoto S; Kobayashi M, Takeuchi M, Sato Y, Narisawa R, Aoyagi	第三内科
Hepatol Res. 2012 Feb;42(2):213-8.	Japanese case of Budd-Chiari syndrome due to hepatic vein thrombosis successfully treated with liver transplantation.	Iwasaki T, Kawai H, Oseki K, Togashi T, Shioji K, Yamamoto S, Sato Y, Suzuki K, Toba K, Nomoto M, Hatakeyama K, Aoyagi Y.	第三内科
Cancer Lett. 2012 Jan 17. [Epub ahead of print]	Blockade of ataxia telangiectasia mutated sensitizes hepatoma cell lines to sorafenib by interfering with Akt signaling.	Fujimaki S, Matsuda Y, Wakai T, Sanpei A, Kubota M, Takamura M, Yamagiwa S, Yano M, Ohkoshi S, Aoyagi Y.	第三内科
日本消化器病学会雑誌 2011;108;267-274.	ペグインターフェロンとリビリンの併用療法中 HCV RNAの陰性化にもかかわらず肝機能障害が継続し組織学的に肝硬変への進展が確認された C型慢性肝炎の1例	大越章吾, 森田慎一, 田中由佳里, 矢野雅彦, 竹内学, 高橋弘道, 池田晴夫, 山際訓, 松田康伸, 野本実, 青柳 豊	第三内科
日本門脈圧亢進症学会雑誌 16巻3号 Page104-109 (2010.10)	【食道・胃静脈瘤治療の標準化】EVLおよびEIS後に早期再発をきたした食道静脈瘤症例の検討 CTによる傍食道静脈の評価と早期再発との関連	横山 恒, 横山純二, 河内裕介, 成澤林太郎, 青柳豊	第三内科
消化器と免疫47号 Page90-95(2011.03)	慢性DSS腸炎におけるトラニラストの治療効果のメカニズムに関する解析	孫曉梅, 鈴木健司, 河内裕介, 山口市, 永田昌毅, 横山純二, 串田良裕, 細野正道, 渡辺賢一, 青柳 豊, 安西光洋, 唐秀芳, 任旭	第三内科
肝臓 52巻9号 Page607-616 (2011.09)	肺転移を伴わず多発肝転移を形成し肝細胞癌との鑑別診断に苦慮した肉腫化腎細胞癌の1例	上村博輝, 石川達, 樋口和男, 今井径卓, 渡辺孝治, 関慶一, 太田宏信, 吉田俊明, 上村朝輝, 武田敬子, 石原法子, 野本実, 青柳 豊	第三内科
ENDOSCOPIC FORUM for digestive disease 27 巻1号 Page25-29 (2011.05)	縦走潰瘍を伴ったcollagenous colitisの3例	高橋弘道, 塩路和彦, 横山純二, 橋本哲, 河内裕介, 小林正明, 青柳 豊, 成澤林太郎, 味岡洋一	第三内科
消化器内視鏡(0915-3217)23巻11号 Page1904-1909 (2011.11)	【変わったぞ「消化管出血のマネジメント」】上部消化管 腫瘍出血の対処法	小林正明, 橋本哲, 河内裕介, 本田穰, 野澤優次郎, 山田一樹, 土屋淳紀, 塩路和彦, 竹内学, 横山純二, 佐藤祐一, 須田剛士, 青柳 豊	第三内科

小計 11 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
消化器内科53巻4号 Page440-446 (2011.10)	【非B非C型肝炎の現状と問題点】Cryptogenic肝癌と他の非B非C型肝炎の臨床病理学的比較	川合弘一, 須田剛士, 上村顕也, 田村康, 五十嵐正人, 野本実, 岡田正彦, 青柳 豊	第三内科
消化器内科(1884-2895)53巻4号 Page368-372 (2011.10)	【未分化型早期胃癌の治療戦略】未分化型早期胃癌の境界診断 周囲粘膜に対するNBI併用拡大観察の有用性	小林正明, 竹内学, 橋本哲, 水野研一, 成澤林太郎, 青柳 豊, 渡辺玄, 味岡洋一	第三内科
消化器内視鏡(0915-3217)23巻10号 Page1781-1787 (2011.10)	【胃びらん・発赤-どうすればわかる良性・悪性】病態別での鑑別の要点 未分化型腺癌による褪色陥凹の特徴と良性褪色陥凹の鑑別	小林正明(新潟大学医歯学総合病院 光学医療診療部), 竹内学, 横山純二, 本田稯, 水野研一, 山本幹, 橋本哲, 河内裕介, 塩路和彦, 佐藤祐一, 成澤林太郎, 青柳 豊	第三内科
消化器の臨床(1344-3070)14巻5号 Page493-498 (2011.10)	【Barrett食道腺癌の診断と治療-その問題点と対策-】 Barrett食道腺癌の治療をどう行うか 問題点と対策 内視鏡的治療(EMR・ESD)	竹内学, 小林正明, 佐藤祐一, 橋本哲, 水野研一, 成澤林太郎, 青柳 豊	第三内科
Gastroenterological Endoscopy 53巻9号 Page3064-3072 (2011.09)	手技の解説 食道ESD後の狭窄対策	竹内学, 橋本哲, 小林正明, 佐藤祐一, 成澤林太郎, 青柳 豊	第三内科
88巻8号 Page941-944 (2011.08)	【外来診療に有用な腫瘍マーカーの知識】腫瘍マーカーの種類と特徴 AFP 臨床と研究	青柳 豊, 田村康, 五十嵐正人, 川合弘一, 須田剛士	第三内科
臨床消化器内科 26巻10号 Page1351-1358 (2011.08)	【食道癌の治療戦略】表在食道癌の治療戦略 表在食道癌内視鏡的相対適応病変に対するESDの有用性と問題点	竹内学, 橋本哲, 小林正明, 佐藤祐一, 成澤林太郎, 青柳 豊	第三内科
成人病と生活習慣病 41巻6号 Page648-653 (2011.06)	【腫瘍マーカー-その今日的解釈(理解)と応用】肝臓癌の腫瘍マーカー	青柳 豊, 田村康, 五十嵐正人, 川合弘一, 須田剛士	第三内科
消化器内視鏡 23巻4号 Page713-720 (2011.04)	【《こうすればできる》画像強調内視鏡による腫瘍診断】食道 Barrett腺癌の診断 Barrett食道・Barrett腺癌の内視鏡診断	竹内学, 小林正明, 渡辺玄, 橋本哲, 佐藤祐一, 成澤林太郎, 味岡洋一, 青柳 豊	第三内科
胃と腸 46巻5号 Page799-807 (2011.05)	【食道表在癌2011】 Barrett SSBEに発生したSM深部浸潤Barrett表在癌の1例	竹内学, 小林正明, 渡辺玄, 田中由佳里, 高橋弘道, 橋本哲, 矢野雅彦, 佐藤祐一, 大越章吾, 成澤林太郎, 味岡洋一, 青柳 豊	第三内科
消化器内視鏡(0915-3217)23巻12号 Page2141-2147.	【食道胃接合部病変をめぐる新知見】[Barrett腺癌の新知見] Barrett腺癌の早期診断と鑑別診断	竹内学, 小林正明, 渡辺玄, 橋本哲, 水野研一, 佐藤祐一, 成澤林太郎, 味岡洋一, 青柳 豊	第三内科
胃と腸47巻2号 Page263-269(2012.02)	家族性大腸腺腫症に発生しNBI併用拡大観察により診断可能であった微小早期胃癌の1例	竹内学, 小林正明, 渡辺玄, 橋本哲, 佐藤祐一, 成澤林太郎, 味岡洋一, 青柳 豊	第三内科
Epidemiol 21(2):144-150,2011	Prevalence of mental disorders and suicidal thoughts among community-dwelling elderly adults 3 years after the niigata-chuetsu earthquake	Suzuki Y, Tssutsumi A, Fukusawa M, Honma H, Someya T, Kim Y	精神科
Mol Psychiatry 16(4):356-358,2011	Exploring functional polymorphisms in the dopamine receptor D2 gene using prolactin concentration in healthy subjects(letter)	Fukui N, Suzuki Y, Sugai T, Watanabe J, Ono S, Tsuneyama N, Someya T	精神科

小計 14 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Psychiatry Clin Neurosci 65(4):395,2011	Reduced thalamus volume in non-right-handed male patients	Egawa N,Watanabe Y,Kitamura H,Endo T,Tamura R,Hasegawa N,Someya T	精神科
J Psychopharmacol 25(7):908-914,2011	CYP2D6 genotype and smoking influence fluvoxamine steady-state concentration in Japanese psychiatric patients:Lessons for genotype-phenotype association study design in translational.	Suzuki y,Sugai T,Fukui N,Watanabe J,Ono S,Inoue Y,Ozdemir V,Someya T	精神科
J Clin Psychopharmacol 31(4):526-528,2011	Changes in the metabolic parameters andQTc interval after switching from olanzapine to aripiprazole in Japanese patients with stable schizophrenia.	Suzuki Y,Sugai T,Ono S,Sawamura K,Fukui N,Watanabe J,Tsuneyama M,Someya T	精神科
AmJ Med Genet B 156(7):850-858,2011	Positive association of phencyclidine-responsive genes,PDE4A and PLAT,with schizophrenia.	Deng X,Takaki H,Wang L,Kuroki T,Nakahara T,Hashimoto K,Ninomiya H,Arinami T,Inada T,Ujike H,Itokawa M,Tochigi M,Watanabe Y,Someya T,Kunugui H,Iwata N,Ozaki N,Shibata H,Fukumaki Y	精神科
Synapse 65(2):103-108,2011	Functional polymorphism in the GPR55 gene is associated with anorexia nervosa.	Ishiguro H,Onaivi ES,Horiuchi Y,Imai K,Komaki G,Ishikawa T,Suzuki M,Watanabe Y,Ando T,Higuchi S,Arinami T	精神科
BMC Public Health 11:323,2011	Effect of an education program on improving knowledge of schizophrenia among parents of junior high school students in Japan.	Yoshii H,watanabe Y,Kitamura H,Chen J,Akazawa K	精神科
BMC Res Notes 4(1):558,2011	Stigma toward schizophrenia among parents of junior and senior high school students in Japan.	Yoshiki H,Watanabe Y,Kitamura H,Nan Z,Akazawa K	精神科
Environ Health Prev Med(epub)	Social network disruption as a major factor associated with psychological distress 3 years after the 2004 Niigata-Chuetsu earthquake in Japan.	Oyama M,Nakamura K,Suda Y,Someya T	精神科
Pharmacogenomics J(epub)	Association between the GIPR gene and the insulin level after glucose loading in schizophrenia patients treated with olanzapine.	Ono S,Suzuki Y,Fukui N,Sugai T,Watanabe J,Tsuneyama N,Someya T	精神科
Hum Psychopharmacol Clin Exp(epub)	Dose-dependent effect of olanzapine on QT intervals and plasma prolactin levels in Japanese.	Suzuki Y ,Ono S , Sugai T ,Fukui N, Watanabe J ,Tsuneyama N , Sawamura K,Someya T	精神科
Pharmacogenomics J(epub)	DPP6 as a candidate gene for neuroleptic-induced tardive dyskinesia.	Tanaka S, Syu A, Ishiguro H, Inada T, Horiuchi Y, Ishikawa M, Koga M, Noguchi E, Ozaki N, Someya T, Kakita A, Takahashi H, Nawa H, Arinami T	精神科

小計 11 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
AmJ Med Genet B(epub)	Association of SNPs linked to increased expression of SLC1A1 with schizophrenia.	Horiuchi Y, Iida S, Koga M, Ishiguro H, Iijima Y, Inada T, Watanabe Y, Someya T, Ujike H, Iwata N, Ozaki N, Kunugi H, Tochigi M, arai M, Niizato K, Iritani S, Kakita A, Takahashi H, Nawa H, Arinami T	精神科
Hum Psychopharmacol Clin Exp(epub)	QT prolongation of the antipsychotic risperidone is prominently related to its 9-hydroxy metabolite paliperidone.	Suzuki Y, Fukui N, Watanabe J, Ono S, Sugai T, Tsuneyama N, Saito M, Inoue Y, Someya T	精神科
日本小児科学会雑誌	小児を対象としたASO3アジュバント添加インフルエンザA/H1N1 2009ワクチンの臨床評価	斎藤 昭彦	小児科
感染と抗菌薬	ヒブワクチン	斎藤 昭彦	小児科
小児高血圧研究会誌	日本人小児の性別学年別別血圧基準値の検討(見附スタディから)	菊池 透	小児科
小児高血圧研究会誌	小児IgA腎症の高血圧合併症に関する組織学的検討	池住 洋平	小児科
日本マス・スクリーニング学会誌	先天性甲状腺機能低下症スクリーニング陽性者における阻害型TSH受容体抗体関与の検討	長崎 啓祐	小児科
ホルモンと臨床	新型インフルエンザに罹患した先天性副腎形成症の臨床像の検討	長崎 啓祐	小児科
新潟市医師会報	QT短縮は心関連症状の危険因子となるか～学校心臓病検診での検討～	星名 哲	小児科
日本消化器病学会誌 108(3):365-372, 2011.	潰瘍性大腸炎に対するW型回腸囊肛門吻合術一疾患の根治性と自然肛門機能の温存を目指して	畠山 勝義	第一外科
新臨床学増補版 医学書院 pp484-490, 2011	短腸症候群	畠山 勝義	第一外科
J Surg Oncol 104(1):45-52, 2011.	High-risk stage II colon cancer after curative resection	Sato H, Maeda K, Sugihara K, Mochizuki H, Kotake K, Teramoto T, Kameoka S, Saito Y, Takahashi K, Hirai T, Ohue M, Shirouzu K, Sakai Y, Watanabe T, Hirata K, Hatakeyama K	第一外科
Langenbecks Arch Surg 396(5):607-613, 2011.	Hepatic resection for liver metastases from carcinomas of the distal bile duct and of the papilla of Vater	Kurosaki I, Minagawa M, Kitami C, Takano K, Takizawa K, Hatakeyama K	第一外科
Journal of Pancreas (JOP) 12(3):220-229, 2011.	Left posterior approach to the superior mesenteric vascular pedicle in pancreaticoduodenectomy for cancer of the pancreatic head	Kurosaki I, Minagawa M, Takano K, Takizawa K, Kitami C, Hatakeyama K	第一外科
胆と膵 32(5):365-372, 2011.	病理診断からみた胆嚢癌術前術中診断の限界およびIncidental Gallbladder Cancerの治療成績	黒崎 功, 味岡 洋一, 滝沢 一泰, 高野 可赴, 皆川 昌広, 畠山 勝義	第一外科
Oncology Epoch 15:14, 2011.	がん医療提供体制の充実を目指す新潟県の取り組み:人材養成ネットワークの充実・発展を目指す	黒崎 功	第一外科
日本消化器病学会雑誌 108(1):33-49, 2011.	GIST診断・治療の最前線	今野 弘之, 西田 俊朗, 神田 達夫, 杉山 敏郎	第一外科

小計 17 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Immunol Invest 40:1-20, 2011.	Development of a high-specificity sandwich ELISA system for the quantification of human intestinal fatty acid-binding protein (I-FABP) concentrations	Funaoka H, Kanda T, Kajiuura S, Ohkaru Y, Fujii H	第一外科
消外 34(2):193-199, 2011.	進行GISTに対する集学的治療: ネオアジュバント治療・アジュバント治療	神田 達夫, 石川 卓, 矢島 和人, 小杉 伸一, 畠山 勝義	第一外科
Med Pract 28(2):341-346, 2011.	上部消化管疾患の実地臨床: GISTに対する内科治療	神田 達夫, 廣田 誠一, 畠山 勝義	第一外科
消化器内科 52(2):209-213, 2011.	急性膵炎における非閉塞性腸管虚血の指標としてのIFABPの意義	古川 浩一, 神田 達夫, 舟岡 宏幸	第一外科
J Gastroenterol 46:492-500, 2011.	Diagnosis of ischemic small bowel disease by measurement of serum intestinal fatty acid-binding protein in patients with acute abdomen: a multicenter, observer-blinded validation study	Kanda T, Tsukahara A, Ueki K, Sakai Y, Tani T, Nishimura A, Yamazaki T, Tamiya Y, Tada T, Hirota M, Hasegawa J, Funaoka H, Fujii H, Hatakeyama K	第一外科
World J Gastrointest Oncol 3:75-78, 2011.	Pedunculated gastric tube interposition in an esophageal cancer patient with prepyloric adenocarcinoma	Kanda T, Sato Y, Yajima K, Kosugi S, Matsuki A, Ishikawa T, Bamba	第一外科
Hepatogastroenterol 58:652-658, 2011.	Phase II study of weekly paclitaxel following fixed three cycles of S-1-based chemotherapy for advanced gastric cancer	Ohashi M, Kanda T, Kobayashi T, Hirota M, Hayami M, Yajima K, Matsuki A, Kosugi S, Hatakeyama K	第一外科
Gastric Cancer 14:188-193, 2011.	A novel procedure for Roux-en-Y reconstruction following laparoscopy-assisted distal gastrectomy: transoral placement of anvil and intracorporeal gastrojejunostomy via umbilical mini-laparotomy	Ohashi M, Iwanaga T, Ohinata R, Kanda T, Iwasaki Y	第一外科
臨外 66(4):450-453, 2011.	悪性腫瘍の術中病理診断を効果的に活用する—消化管間質腫瘍(GIST)	神田 達夫, 廣田 誠一, 石川 卓, 金子 博, 畠山 勝義	第一外科
治療 93:861-862, 2011.	GISTの再発治療でイマチニブを3年以上飲んでいますが、やめることはできないでしょうか? —がん診療サポートガイド	神田 達夫	第一外科
治療 93:863-865, 2011.	胃の粘膜下腫瘍を切除したら、中リスクのGISTとの病理診断でした。イマチニブによる術後補助療法は必要でしょうか?—がん診療サポートガイド	神田 達夫	第一外科
癌と化療 38(8):1266-1270, 2011.	Marginally resectable tumor に対する治療戦略—GIST	神田 達夫, 石川 卓, 尾崎 利郎, 矢島 和人, 小杉 伸一, 畠山 勝義	第一外科
Am J Surg 202:247-53, 2011.	Postoperative long-term evaluation of interposition reconstruction compared with Roux-en-Y after total gastrectomy in gastric cancer: prospective randomized controlled trial	Ishigami S, Natsugoe S, Hokita S, Aoki T, Kashiwagi H, Hirakawa K, Sawada T, Yamamura Y, Itoh S, Hirata K, Ohta K, Mafune K, Nakane Y, Kanda T, Furukawa H, Sasaki I, Kubota T, Kitajima M, Aikou T	第一外科
Jpn J Clin Oncol 41:1194-202, 2011.	Pfetin as a prognostic biomarker for gastrointestinal stromal tumor: validation study in multiple clinical facilities	Kubota D, Orita H, Yoshida A, Gotoh M, Kanda T, Tsuda H, Hasegawa T, Katai H, Shimada Y, Kaneko K, Kawai A, Kondo T	第一外科

小計 14 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer 117:4633-41, 2011.	Phase 2 study of nilotinib as third-line therapy for patients with gastrointestinal stromal tumor	Sawaki A, Nishida T, Doi T, Yamada Y, Komatsu Y, Kanda T, Kakeji Y, Onozawa Y, Yamasaki M, Ohtsu A	第一外科
臨外 66(11):156-160, 2011.	GIST ③進行・再発(切除不能を含む)治療:外科医のための最新薬物療法	神田 達夫, 石川 卓, 畠山 勝義	第一外科
血管新生阻害薬のベストマネジメント(西田 俊朗, 他編), 金原出版株式会社, 東京 p122-7, 2011	創傷治癒遅延	神田 達夫, 石川 卓	第一外科
日本腹部救急医学会雑誌 31(7):1039-1043, 2011.	腸管虚血による小腸粘膜障害の早期診断としてのI-FABP(intestinal fatty acid-binding protein)	古川 浩一, 神田 達夫, 舟岡 宏幸	第一外科
先端医療シリーズ42「消化器疾患の最新医療」(戸田剛太郎, 他編), 先端医療技術研究所, 東京, 2011, p152-5.	GISTとKIT阻害薬	神田 達夫, 石川 卓, 畠山 勝義	第一外科
日本消化器病学会雑誌 108(1): 33-49, 2011.	GIST診断・治療の最前線	今野弘之, 西田俊朗, 神田達夫, 杉山敏郎	第一外科
Hepatogastroenterology 58:444-452, 2011.	A 10-Year Personal Experiences of Shunt Surgery for Esophago-Gastric varices in a Single Center in JAPAN	Sato Y, Oya H, Yamamoto S, Kobayashi T, Nakatsuka H, Watanabe T, Kokai H, Hatakeyama K	第一外科
へるす出版:編集:沖永功太 1(1):p23-33, 2011.	脾臓—基礎と臨床— [基礎事項 4脾臓と肝臓の免疫相関 脾腫のメカニズムと移植免疫]	佐藤 好信, 山本 智, 大矢 洋, 小林 隆, 原 義明, 小海 秀央, 三浦 宏平, 富山智香子, 谷口 委代, 畠山 勝義	第一外科
手術 65(6):931-935, 2011.	【最新 胃・腸・食道手術】結腸・直腸・肛門 潰瘍性大腸炎の外科治療	飯合 恒夫, 亀山 仁史, 野上 仁, 島田 能史, 畠山 勝義	第一外科
外科治療 104増刊: 762-766, 2011.	【がん患者の周術期管理のすべて】術後の主な合併症とその対策 術後腸管蠕動障害	飯合 恒夫, 野上 仁, 亀山 仁史, 島田 能史, 畠山 勝義	第一外科
消外 34(6):782-787, 2011.	【アトラスで学ぶ 達人の手術】小腸・結腸の手術 小腸切除術	飯合 恒夫, 畠山 勝義	第一外科
臨外 66(11)増刊:135-146, 2011.	特集 外科医のための最新薬物療法 I章 臓器別薬物療法 大腸癌③ 進行・再発(切除不能を含む)治療	飯合 恒夫, 野上 仁, 亀山 仁史, 島田 能史, 畠山 勝義	第一外科
日消誌 108(12):1996-2002, 2011.	潰瘍性大腸炎手術例の術後長期経過の検討—多施設共同研究による術後5年以上経過例の分析—	杉田 昭, 池内 浩基, 舟山 裕士, 木村 英明, 飯合 恒夫, 二見喜太郎, 板橋 道朗, 小金井一隆, 佐々木 巖, 渡辺 守	第一外科
Int Surg 96(3):201-206, 2011.	Postoperative defecatory function of an ideal pouchanal anastomosis after a restorative proctocolectomy for ulcerative colitis: evaluation using fecoflowmetry	Kobayashi Y, Iiai T, Yagi M, Okamoto H, Tani T, Hatakeyama K	第一外科
臨栄別冊JCNセレクト5 EBNエビデンスにもとづく栄養ケア pp37-41, 2011	ESPENガイドラインの概要 静脈栄養	小山 諭	第一外科
薬事 53(10):1473-1478, 2011.	静脈栄養法か経腸栄養法か?	小山 諭	第一外科

小計 16 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Intensivist 3(3):502-511, 2011.	エネルギー源としての脂肪乳剤投与 最近の知見と本邦の現状	小山 諭	第一外科
臨外 66(6):724-730, 2011.	TPN製剤 ラインナップとそれぞれの特徴	小山 諭, 坂田 英子, 長谷川美樹, 利川 千絵, 萬羽 尚子, 五十嵐麻由子, 畠山 勝義	第一外科
日本小児外科学会雑誌 47(2):251-255, 2011.	11歳女兒に発生した右乳房巨大葉状腫瘍	塚田 真実, 窪田 正幸, 奥山 直樹, 小林久美子, 佐藤佳奈子, 仲谷 健吾, 畠山 勝義, 小山 諭, 大橋 瑠子	第一外科
静脈経腸栄養 26(2):723-735, 2011.	周術期の栄養管理	小山 諭, 森 直治	第一外科
外科と代謝・栄 45(1):15-19, 2011.	外科卒後研修 代謝栄養学をいかに学ぶか? 当科でのアンケート結果より	小山 諭	第一外科
ナーシングケアQ&A 37:154-155, 2011.	半固形化栄養材を用いたPEG管理 半固形化で吸収機能は変化しないの?	小山 諭	第一外科
"Hepatocellular Carcinoma / Book 1", ISBN978-953-307-748-2	Molecular mechanism of DNA damage response pathway during hepatic carcinogenesis	Matsuda Y, Wakai T	第一外科
Int J Oncol 38(5):1227-1236, 2011.	Alteration of p53-binding protein 1 expression as a risk factor for local recurrence in patients undergoing resection for extrahepatic cholangiocarcinoma	Wakai T, Shirai Y, Sakata J, Korita PV, Matsuda Y, Takamura M, Ohashi R, Nagahashi M, Ajioka Y, Hatakeyama K	第一外科
J Gastroint Surg 15(8):1450-1458, 2011.	Surgical outcomes for hepatocellular carcinoma in nonalcoholic Fatty liver disease	Wakai T, Shirai Y, Sakata J, Korita PV, Ajioka Y, Hatakeyama K	第一外科
Int J Clin Exp Pathol 4(4):363-370, 2011.	Prognostic significance of NQO1 expression in intrahepatic cholangiocarcinoma	Wakai T, Shirai Y, Sakata J, Matsuda Y, Korita PV, Takamura M, Ajioka Y, Hatakeyama K	第一外科
Hepatogastroenterology 58(106):583-588, 2011.	Intraepithelial Ductal Spread in Colorectal Carcinoma Liver Metastasis	Wakai T, Korita PV, Ajioka Y, Inoue M, Takamura M, Akazawa K, Shirai Y, Hatakeyama K	第一外科
Hepatogastroenterology 58(110-111):1659-1663, 2011.	Ribonucleotide Reductase M1 Expression in Intrahepatic Cholangiocarcinoma	Wakai T, Shirai Y, Sakata J, Takamura M, Matsuda Y, Korita PV, Muneoka K, Sasaki M, Ajioka Y, Hatakeyama K	第一外科
World J Hepatol 3(1):15-23, 2011.	Multicentric occurrence of hepatocellular carcinoma with nonalcoholic steatohepatitis	Kawai H, Nomoto M, Suda T, Kamimura K, Tsuchiya A, Tamura Y, Yano M, Takamura M, Igarashi M, Wakai T, Yamagiwa S, Matsuda Y, Ohkoshi S, Kurosaki I, Shirai Y, Okada M, Aoyagi Y	第一外科

小計 13 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Tohoku J Exp Med 224 (1):21-27, 2011.	Alcohol consumption as a risk factor for esophageal adenocarcinoma in North China	Chen J, Zhang N, Ling Y, Wakai T, He Y, Wei L, Wang S, Akazawa K	第一外科
臨外 66(10):1342-1347, 2011.	【進歩する癌転移診断 外科臨床はどう変わるのか】原発巣別 胆嚢癌	若井 俊文, 白井 良夫, 畠山 勝義	第一外科
新潟医学会誌 125(10):557-565, 2011.	非アルコール性脂肪性肝疾患における肝細胞癌に対する外科治療の遠隔成績	若井 俊文, 坂田 純, 白井 良夫, 畠山 勝義, 味岡 洋一, 川合 弘一, 野本 実, 須田 剛士, 田村 康, 高村 昌昭, 山際 訓, 松田 康伸, 青柳 豊	第一外科
新潟医学会誌 125(12):678-681, 2011.	標準予防策が消化器外科手術患者における新規MRSA検出率に与える効果	若井 俊文, 橋本 喜文, 坂田 純, 白井 良夫, 畠山 勝義, 内山 正子, 田邊 嘉也, 青木美栄子, 白砂由美子	第一外科
Ann Surg Oncol 18:2961-2967, 2011.	Risk Factors that Influence Early Death Due to Cancer Recurrence After Extended Radical Esophagectomy with Three-Field Lymph Node Dissection	Kosugi S, Kanda T, Yajima K, Ishikawa T, Hatakeyama K	第一外科
Surgery 149(6):848-850, 2011.	Navigation surgery with autofluorescence imaging for small hepatocellular carcinomas invisible to ultrasonography	Minagawa M, Kurosaki I, Ogawa H, Hatakeyama K	第一外科
肝胆膵 63(3):511-516, 2011.	肝胆膵疾患と栄養療法の最前線 胆道, 膵疾患と栄養 膵頭十二指腸切除術後の経腸栄養	皆川 昌広, 黒崎 功, 高野 可赴, 畠山 勝義	第一外科
Hepatogastroenterology 58(110-111):1765-1768, 2011.	A new technique of lateral approach for laparoscopy-assisted donor left hepatectomy	Oya H, Sato Y, Yamamoto S, Hara Y, Kobayashi T, Watanabe T, Kokai H, Miura K, Hatakeyama K	第一外科
外科治療 104(2):209-211, 2011.	胆管癌再発による輸入脚症候群に対し外科的腸管ドレナージが有効であった一例	高久 秀哉, 春日 信弘, 東 和明, 小海 秀央, 及川 明奈, 長倉 成憲, 鈴木 俊繁	第一外科
漢方医学 35(1):80-82, 2011.	抗癌薬による白血球減少に対し十全大補湯が有用であった胃癌傍大動脈リンパ節転移の1例	高久 秀哉, 及川 明奈, 小海 秀央, 春日 信弘, 東 和明, 長倉 成憲, 鈴木 俊繁	第一外科
Surg Today 41:1270-1274, 2011.	Peloid-Type Well-Differentiated Hepatocellular Carcinoma in a Patient with a History of Taking Oral Contraceptives: Report of a Case	Ikeda N, Oka K, Yonekawa N, Tkakaku H, Suzuki T, Saitoh T, Nagakura S, Nakano M	第一外科
外科治療 105(5):495-499, 2011.	開腹既往のない小腸イレウス症例の検討	高久 秀哉, 長倉 成憲, 鈴木 俊繁, 及川 明奈, 東 和明, 黒崎 亮, 春日 信弘	第一外科
外科 73(13):1494-1498, 2011.	90歳以上大腸癌手術例の検討	高久 秀哉, 鈴木 俊繁, 長倉 成憲, 及川 明奈	第一外科
Pancreas 40(2):193-199, 2011.	Correlation of histopathology, islet yield, and islet graft function after islet autotransplantation in chronic pancreatitis	Kobayashi T, Manivel JC, Carlson AM, Bellin MD, Moran A, Freeman ML, Bielman GJ, Hering BJ, Dunn T, Sutherland DE.	第一外科

小計 14 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
新潟医学会誌 125(12):682-685,2011.	弾性ストッキングにより生じた腓骨神経麻痺の2例	小林 隆、蛭川浩史、 内藤哲也、添野真 嗣、下田傑、佐藤 優、松岡弘泰、多田 哲也、畠山勝義	第一外科
新潟医学会誌 125(8):427- 433,2011.	グローブ法による単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の 経験	寺島哲郎、須田武保、 中野雅人、番場竹生	第一外科
臨外 66(2):157-160, 2011.	T4直腸・肛門管癌に対する適切な切除範囲	野上 仁、島田 能 史、畠山 仁史、飯 合 恒夫、畠山 勝 義	第一外科
臨外 66(3):324-329, 2011.	直腸手術後の肛門機能不全	野上 仁、島田 能 史、畠山 仁史、飯 合 恒夫、畠山 勝 義	第一外科
臨外 66(13):1614- 1618, 2011.	外科医のための消化器内視鏡Up-to-Date 大腸 (結腸・直腸)	野上 仁、谷 達 夫、島田 能史、畠 山 仁史、飯合 恒 夫、畠山 勝義	第一外科
手術 65(7):965-969, 2011.	上部消化管穿孔に対する外科治療	矢島 和人、神田 達夫、石川 卓、小 杉 伸一、鈴木 力、畠山 勝義	第一外科
消外 34(11):1629- 1638, 2011.	潰瘍性大腸炎(大量出血、中毒性巨大結腸症)	畠山 仁史、飯合 恒夫、島田 能史、 野上 仁、畠山 勝 義	第一外科
日臨外会誌 72(5): 1097-1100, 2011.	右側結腸憩室症に対する腹腔鏡手術の成績	畠山 仁史、山崎 俊幸、桑原 史郎、 大谷 哲也、片柳 憲雄、畠山 勝義	第一外科
日臨 69(3 suppl):175- 178, 2011.	大腸癌骨転移・脳転移の臨床的特徴	畠山 仁史、飯合 恒夫、伏木 麻恵、 野上 仁、畠山 勝 義	第一外科
日本消外学会雑誌 44 (9):1134-1141, 2011.	術前診断しえた特発性胆嚢穿孔の1例	内藤 哲也、高野 可赴、親松 学、佐 藤 賢治	第一外科
World J Surg 35:2118- 2124, 2011.	Assessment of the Nodal Status in Ampullary Carcinoma: The Number of Positive Lymph Nodes Versus the Lymph Node Ratio	Sakata J, Shirai Y, Wakai T, Ajioka Y, Akazawa K, Hatakeyama K	第一外科
日消外会誌 44(11): 1434-1440, 2011.	穿孔を来した成人回腸重複腸管症の1例	池田 義之、松木 淳、石川 卓、渡辺 玄、畠山 勝義	第一外科
癌と化療 38(5):722- 727, 2011.	【GIST治療最近の話題】GIST外科治療の現況	石川 卓、神田 達 夫、小杉 伸一、矢 島 和人、畠山 勝 義	第一外科
癌と化療 38(6):916- 921, 2011.	【分子標的治療薬の二次治療】消化管間質腫瘍と スニチニブ	石川 卓、神田 達 夫、小杉 伸一、矢 島 和人、畠山 勝 義	第一外科
新潟医学会誌 125(2): 100-103, 2011.	ED tubeによる経管栄養治療が奏功した上腸間膜 動脈症候群の1例	榎本 剛彦、田中 典生、佐藤 洋、塚 原 明弘、小山俊太 郎、武田 信夫、下 田 聡	第一外科
新潟医学会誌 125(3): 122-133, 2011.	浸潤癌を伴う膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)の病 理組織像 粘液形質及び悪性度に関する研究	佐藤 大輔	第一外科
Dis Colon Rectum 54 (12):1510-1520, 2011.	Intramural and Mesorectal Distal Spread Detected by Whole-Mount Sections in the Determination of Optimal Distal Resection Margin in Patients Undergoing Surgery for Rectosigmoid or Rectal Cancer Without Preoperative Therapy	Shimada Y, Takii Y, Maruyama S, Ohta T	第一外科

小計 17 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
癌と化療 38(7):1213-1215, 2011.	CapeOX療法が奏効した超高齢者再発直腸癌の1例	島田 能史, 坂本武也, 親松 学, 佐藤 賢治, 谷 達夫	第一外科
日本大腸肛門病学会誌 64(6):433-438, 2011.	腸管囊腫様気腫症を合併した潰瘍性大腸炎の2手術例	中野 雅人, 須田武保, 寺島 哲郎, 五十嵐 聡, 味岡 洋一	第一外科
臨床外科 66(7):991-993, 2011.	保存的治療で治癒した腸管気腫症を伴う門脈ガス血症の1例	永橋 昌幸, 高橋元子, 小野 一之, 岡本 春彦, 田宮 洋一, 畠山 勝義	第一外科
Anticancer Agents Med Chem 11:794-798, 2011.	Targeting Sphingosine-1-Phosphate in Hematologic Malignancies	Stevenson CE, Takabe K, Nagahashi M, Milstien S, Spiegel S	第一外科
日本内視鏡外科学会誌 16(1):71-77, 2011.	胸腔鏡補助下で切除したPET陰性食道粘膜下腫瘍の1例	羽入 隆晃, 矢島和人, 松木 淳, 石川 卓, 畠山 勝義	第一外科
World Journal of Surgery 35(11):2454-2462, 2011.	Community-acquired pneumonia during long-term follow-up of patients after radical esophagectomy for esophageal cancer: analysis of incidence and associated risk factors	Hanyu T, Kanda T, Yajima K, Tanabe Y, Komukai S, Kosugi S, Suzuki T, Hatakeyama K	第一外科
Surgery 149(2):164-170, 2011.	Operative treatment for metachronous pulmonary metastasis from esophageal carcinoma	Ichikawa H, Kosugi S, Nakagawa S, Kanda T, Tsuchida M, Koike T, Tanaka O, Hatakeyama K	第一外科
肝・胆・膵 62(1):119-126, 2011.	肝内胆管・胆道 肝内胆管癌の前癌病変 BiINを中心に	井上 真, 若井 俊文, 味岡 洋一	第一外科
Oncology Letters 2(2):207-210, 2011.	Gastric Ewing sarcoma/primitive neuroectodermal tumor: A case report	Inoue M, Wakai T, Korita PV, Sakata J, Kurosaki R, Ogose A, Kawashima H, Shirai Y, Ajioka Y, Hatakeyama K	第一外科
Hepatogastroenterology 58(112):2045-2051, 2011.	Liver-intestine cadherin in intraepithelial neoplasia of intrahepatic cholangiocarcinoma	Inoue M, Ajioka Y, Wakai T, Takamura M, Korita PV, Shirai Y, Hatakeyama K	第一外科
新潟医学会誌 125(2):95-99, 2011.	膵頭部の膵管内乳頭粘液腫瘍(IPMN)に胆嚢炎を伴う胆嚢結石症を合併し、治療方針の決定に苦慮した1例	岡村 拓磨, 渡辺直純, 林 達彦, 村山 裕一, 清水 武昭	第一外科
日本臨外学会誌 72(10):62-66, 2011.	胃癌切除後にII a+II c様の多発大腸転移を認めた1例	岡村 拓磨, 河内保之, 渡邊 隆興, 西村 淳, 新国 恵也, 清水 武昭	第一外科
新潟医会誌 125(3):142-149, 2011.	NSAIDs起因性と考えられた多発性大腸穿孔の1例	坂本 武也, 須田武保, 中島 真人, 坂田 純, 須田 和敬, 畠山 勝義, 味岡 洋一	第一外科
日本臨外学会雑誌 74(4):1051-1054, 2011.	坐骨ヘルニア内に穿孔性虫垂炎による膿瘍を形成した1例	田中 亮, 鈴木晋, 岡田 貴幸, 青野 高志, 長谷川正樹	第一外科
日本臨外学会雑誌 72(4):893-897, 2011.	大量腹腔内出血によるショックを呈した小腸GISTの1例	萬羽 尚子, 鈴木晋, 青野 高志, 長谷川正樹	第一外科
手術 65(1):115-118, 2011.	腹腔鏡補助下胃全摘後の拳上空腸良性通過障害に対し、磁石圧迫吻合術(山内法)による吻合を行った1例	大橋 拓, 武者 信行, 山内栄五郎, 関慶一	第一外科

小計 16 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本腹部救急医学会雑誌 31(5):777-781, 2011.	Damage control surgeryでの一時的閉腹に創部保護リトラクターApplied Alexisを用いた1例	大橋 拓, 二瓶 幸栄, 大滝 雅博, 中野 雅人, 鈴木 聡, 三科 武	第一外科
日本臨外学会雑誌 72 (6):1465-1469, 2011.	単孔式腹腔鏡下手術で切除した原発性早期小腸癌の1例	田島 陽介, 飯合 恒夫, 野上 仁, 亀山 仁史, 島田 能史, 畠山 勝義	第一外科
臨外 66(3):391-394, 2011.	晚期放射線障害に起因すると考えられた骨盤内臓全摘術後の回腸導管会陰皮膚瘻の1例	丸山 智宏, 亀山 仁史, 八木 寛, 谷達夫, 飯合 恒夫, 畠山 勝義	第一外科
新潟医学会誌 125(4): 207-211, 2011.	Williamsonバイパス術が有効であった切除不能膵頭部癌の1例	丸山 智宏, 坂田 純, 若井 俊文, 白井 良夫, 宗岡 克樹, 佐々木正貴, 畠山 勝義	第一外科
Clinical Journal of Gastroenterology 4(4): 218-222, 2011.	Secondary resistance to imatinib mesylate 70 months after initiation of therapy in a patient with a metastatic gastric gastrointestinal stromal tumor	Tatsuda K, Kanda T, Ishikawa T, Hirota S, Nishikura K, Yajima K, Kosugi S, Hatakeyama K	第一外科
日臨外会誌 72(11): 2978-2982, 2011.	腫瘍出血に対して照射ならびにバイパス手術が有効であった大腿骨骨肉種十二指腸転移の1例	三浦 宏平, 鈴木 聡, 二瓶 幸栄, 大滝 雅博, 池田 義之, 三科 武	第一外科
癌と化療 38(7):1221- 1224, 2011.	XELOX療法が奏効し治癒切除が可能となった高度進行直腸癌の1例	八木 寛, 飯合 恒夫, 斎藤 敬太, 亀山 仁史, 野上 仁, 梅津 哉, 畠山 勝義	第一外科
日本臨外学会雑誌 72 (7):1795-1798, 2011.	FDG-PETで集積亢進を呈したS状結腸神経鞘腫の1例	八木 寛, 飯合 恒夫, 伏木 麻恵, 谷達夫, 野上 仁, 畠山 勝義	第一外科
日臨外会誌 72(2): 399-403, 2011.	多発回腸カルチノイドの1例	加納 陽介, 飯合 恒夫, 亀山 仁史, 野上 仁, 谷達夫, 畠山 勝義	第一外科
長岡赤十字病院医学雑誌 24:31-35, 2011.	長岡赤十字病院における初発乳癌治療の現状	利川 千絵, 島影 尚弘, 田島 健三	第一外科
Anesthesia & Analgesia 113(3): 565-571, 2011	Reduction of spinal cord ischemia/reperfusion injury with simvastatin in rats	Takeshi Saito, Masanori Tsuchida, Shino Umehara, Tatsuro Kohno, Hiroshi Yamamoto, Jun-ichi Hayashi	第二外科
General Thoracic and Cardiovascular Surgery 59(9): 612-615, 2011	Floating thrombus originating from an almost normal thoracic aorta	Osamu Namura, Masakazu Sogawa, Fuyuki Asami, Takeshi Okamoto, Kazuhiko Hanzawa, Jun-ichi Hayashi	第二外科
Circulation Journal 75(6): 1424-1432, 2011	Multidetector-row computed tomography-based clinical assessment of fondaparinux for treatment of acute pulmonary embolism and acute deep vein thrombosis in Japanese patients	Mashio Nakamura, Yoshiaki Okano, Hiroki Minamiguchi, Mitsuru Munemasa, Masahiro Sonoda, Norikazu Yamada, Kazuhiko Hanzawa, Narumi Aoyagi, Hiroshi Tsujimoto, Nobuaki Sarai, Hiromu Nakajima, Takeyoshi Kunieda	第二外科

小計 13 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
脳卒中 33(3): 319-325, 2011	急性期脳血管障害患者の下肢深部静脈血栓症における概膝窩静脈径計測の意義	清水 高弘, 下出 淳子, 佐々木央我, 徳山 承明, 伊佐早健司, 今井 健, 萩原 悠太, 鶴岡 淳, 熱海 千尋, 水上 平祐, 榛沢 和彦, 長谷川泰弘	第二外科
日本血栓止血学会誌 22(5): 229-240, 2011	東日本大震災における血栓止血関連疾患の発症状況と問題点	榛沢 和彦	第二外科
日本血管外科学会雑誌 20(4): 733-736, 2011	多発内臓動脈瘤の1手術例	島田 晃治, 名村 理	第二外科
General Thoracic and Cardiovascular Surgery 59(10): 686-692, 2011	Long-term results of total cavopulmonary connection with low ejection fraction	Shuichi Shiraishi, Hideki Uemura, Koji Kagisaki, Ikuo Hagino, Junjiro, Kobayashi, Masashi Takahashi, Toshikatsu Yagihara	第二外科
Journal of Bronchology & Interventional Pulmonology 18(4): 301-305, 2011	Simultaneous isolation of total RNA, DNA, and protein using samples obtained by EBUS-TBNA	Takahiro Nakajima, Takashi Anayama, Terumoto Koike, Thomas Waddell, Shaf Kesahvjee, Hideki Kimura, Ichiro Yoshino, Kazuhiro Yasufuku	第二外科
Journal of Heart and Lung Transplantation 30(12): 1312-1319, 2011	Kinetics of lactate metabolism during acellular normothermic ex vivo lung perfusion	Terumoto Koike, Jonathan C. Yeung, Marcelo Cypel, Matthew Rubacha, Yasushi Matsuda, Masaaki Sato, Thomas K. Waddell, Mingyao Liu, Shaf Keshavjee	第二外科
Pediatr Surg Int 27; 599-603,2011	Effects of neuromodulation with sacral magnetic stimulation for intractable bowel or bladder dysfunction in postoperative patients with anorectal malformation: a preliminary report.	Kubota M	小児外科
Eur J Dermatol,21(5):801-803(2011.9)	Hypohidrotic ectodermal dysplasia caused by a missense mutation in the EDA gene.	Fujimoto A	皮膚科
皮膚病診療, 33(7):758-764(2011.7)	異汗性湿疹および痒疹と金属アレルギー:新潟大学10年間の検討 補綴金属を中心とした治療効果の検討	大湖 健太郎	皮膚科
臨床皮膚科, 65(9):659-662(2011.8)	同種皮膚移植に自家皮膚移植を併用した広範囲熱傷の1例	五十嵐 可奈子	皮膚科
臨床泌尿器科	症例:尿管異所開口を伴った低形成腎に対する後腹腔鏡下腎摘出術	白野侑子	泌尿器科
腎移植・血管外科	抗血液型抗体価が高いABO血液型不適合腎移植の3症例	中川由紀	泌尿器科
腎移植・血管外科	腎移植後IgA腎症再発に対し扁桃摘出とステロイドパルス療法後に発症した免疫性血小板減少症(Immunethrombocytopenia)の1例	白野侑子	泌尿器科
Journal of Endourology	Nephrectomy Plus Endoscopy-Assisted Intussusception Ureterectomy for Patients with Renal Pelvic Cancer:Long-Term Oncology Outcomes in Comparison with Nephroureterectomy Plus Bladder Cuff Removal	Noboru Hara	泌尿器科

小計 14 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Japanese Journal of Endourology	Retroperitoneoscopic nephrectomy using a GelPort as the main access platform with a muscle-splitting approach :initial clinical experience	Takashi Kasahara	泌尿器科
Japanese Journal of Clinical Oncology	External Validation of the UCSF-CAPRA (University of California, San Francisco, Cancer of the Prostate Risk Assessment)in Japanese Patients Receiving Radical Prostatectomy	Fumio Ishizaki	泌尿器科
ELSEVIER単行本	ABO-INCOMPATIBLE KIDNEY TRANSPLANTATION -Why is hyperacute rejection absent?-	Kota Takahashi	泌尿器科
腎と透析	特集:腎臓と貧血 腎移植後の貧血治療	中川由紀	泌尿器科
腎と透析	特集:腎代替療法の問題点を再考する【CKDの治療概念からみた腎代替療法における導入期の見直し】腎移植	高橋公太	泌尿器科
泌尿器外科	ホルモン抵抗性前立腺癌概念のparadigm shift	西山 勉	泌尿器科
臨床透析	特集:アフェレシスUpdate -各科領域における進歩と展望- IX移植医療におけるアフェレシス療法	中川由紀	泌尿器科
Jpn J Ophthalmol	Trabeculotomy combined with phacoemulsification, intraocular lens implantation and sinusotomy for exfoliation glaucoma	福地 健郎	眼科
あたらしい眼科	後極部OCTの緑内障への応用:現在	福地 健郎	眼科
眼科臨床紀要	口蹄疫の防疫対策中に牛に蹴られ眼球破裂を生じた1例	長谷部 日	眼科
神経眼科	前立腺癌による眼窩および脈絡膜転移を併発し診断が困難であった1例	植木 智志	眼科
眼科臨床紀要	視細胞内節外節接合部欠損に伴う視力低下をきたした2例	高田 律子	眼科
眼科手術	眼窩骨折の整復材料	尾山 徳秀	眼科
眼科	トラベクレクトミー (MMC併用)と術後管理	上田 潤	眼科
臨床眼科	視神経炎における抗アクアポリン-4抗体	植木 智志	眼科
眼科手術	強膜半層切開に縫着糸の結び目を埋没させる眼内レンズ縫着の新しい方法	長谷部 日	眼科
Jpn J Ophthalmol	Multifocal mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma associated with IgG4-related disease: a case report	尾山 徳秀	眼科
NeuroReport	Functional asymmetry in primary auditory cortex for processing musical sounds:temporal pattern analysis of fMRI time series	Shuji Izumi	耳鼻咽喉科
Experimental Animals	Bcl11b Heterozygosity Leads to Age-Related Hearing loss andDegeneration of Outer Hair Cells of the Mucosa Cochlea	Hitoshi OKUMURA	耳鼻咽喉科
Otology Japan	聴神経腫瘍症例の聴力像の検討	高橋 邦行	耳鼻咽喉科
Otology Japan	内耳骨包に著明な脱灰像を呈したvan der Hoeve症候群の1例 —当科手術7耳との比較検討—	森田由香	耳鼻咽喉科

小計 21 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Otology Japan	日本耳科学会用語委員会報 「中耳真珠腫進展度分類2010改定案」	山本 裕	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床	小児顔面神経麻痺例 —分娩外傷4例を含む37例の臨床的検討—	森田由香	耳鼻咽喉科
新潟市民病院医誌	難治性鼻出血を契機に発症したWegener肉芽腫症の1例	奥村 仁	耳鼻咽喉科
頭頸部癌	下咽頭癌に対する咽喉摘・咽喉食摘施行症例の検討	佐藤克郎	耳鼻咽喉科
日本気管食道科学会会報	声帯麻痺に対する治療の最前線 Ejnell法による声門開大術 —術式の工夫と音声機能の長期経過—	佐藤克郎	耳鼻咽喉科
Histopathology	The predominant expression of hepatocyte nuclear factor 4 α (HNF4 α) in thyroid transcription factor-1 (TTF-1)-negative pulmonary adenocarcinoma	Kunii Ryosuke	放射線科
Acad Radiol	Relationship between heart rate and optimal reconstruction phase in dual-source CT coronary angiography	Horii Yosuke	放射線科
NeuroImage	Quantitative PET analyses of regional [11C] PE2I binding to the dopamine transporter -Application to juvenile myoclonic epilepsy	Odano Ikuo	放射線科
Jpn J Radiol	Where is the most common site of DVT? Evaluation by CT venography	Yoshimura Norihiko	放射線科
Curr Oncol Rep	The role of whole brain radiation therapy for the management of brain metastases in the era of stereotactic radiosurgery	Abe Eisuke	放射線科
Human Reproduction	Possible Involvement of the E-cadherin gene in genetic susceptibility to endometriosis.	Yoshida K	産婦人科
J Obstet Gynaecol Res.	Histology-specific long-term trends in the incidence of ovarian cancer and borderline tumor in Japanese females:A population-based study from 1983 to 2007 in	Yahata T	産婦人科
Clin Cancer Res.	High-Risk Ovarian Cancer based on 126-Gene Expression Signature Is Uniquely Characterized by Downregulation of Antigen Presentation Pathway.	Yoshihara K	産婦人科
Eur J Gynaecol Oncol	Trends in the incidence of uterine cancer in Niigata,Japan:a population-based study from 1982 to 2007.	Banzai C	産婦人科
Fetal Diagn Ther	Changes in fetal circulation associated with congenital heart disease and their effects on fetal growth.	Itsukaichi M	産婦人科
BMC Neurol	Successful twin pregnancy in a patient with parkin-associated autosomal recessive juvenile parkinsonism.	Serikawa T	産婦人科
J Obster Gynaecol Res.	Analysis of the polymorphisms of genes coding biotransformation enzymes in recurrent miscarriage in the Japanese population.	Nonaka T	産婦人科
Int J Mol Sci	Identification of Receptor Tyrosine Kinase,Discoidin Domain Receptor 1 (DDR1),as Potential Biomarker for Serous Ovarian Cancer.	Quan J	産婦人科
Fertil Sterin	Complete hysteroscopic resection of a large atypical polypoid adenomyoma,folloowed by a successful pregnancy.	Yahata T	産婦人科
J Obster Gynaecol Res.	A case report of fatal tumor lysis syndrome after chemotherapy in a pregnant patient with Burkitt's lymphoma.	Serikawa T	産婦人科
Obster Gynecol.	Resolution of uterine arteriovenous malformation and successful pregnancy after treatment with a gonadotropin-releasing hormone agonist.	Nonaka T	産婦人科
Genes Chromosomes Cancer.	Germline copy number variations in BRCA1-associated ovarian cancer patients.	Yoshihara K	産婦人科

小計 22 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Obstet Gynaecol Res	Clinical significances of magnetic resonance imaging in prenatal diagnosis of vasa previa in a woman with bilobed placentas.	Kikuchi A	産婦人科
Neuroscience Letter	Electrophysiological analysis of vulnerability to experimental ischemia in neonatal rat spinal ventral horn neurons	Honda H	医歯学総合病院高次救命災害治療センター
麻酔	脊髄における全身麻酔薬の作用機序	山本知裕	麻酔科
Anesthesia & Analgesia	Zaltoprofen inhibits bradykinin-mediated enhancement of glutamate receptor activity in substantia gelatinosa neurons	Kohno T	麻酔科学講座
麻酔	慢性疼痛治療薬の脊髄鎮痛メカニズム	河野達郎	麻酔科学講座
麻酔	脊髄後角ニューロンでのNMDA型グルタミン酸受容体に対する局所麻酔薬の抑制作用	古谷健太	麻酔科学講座
Journal of Anesthesia	Tissue doppler imaging is useful for predicting the need for inotropic support after cardiac surgery	Imai H	麻酔科
Anesthesiology	Acute airway obstruction and tracheal laceration during gastrostomy placement in an infant with tracheo-esophageal fistula	Ishii H	麻酔科
Clinical Neuroscience	オピオイドペプチドによる鎮痛作用	生駒美穂	麻酔科
Anesthesiology	Intranasal Application of Xenon: A Shortcut to the Brain or Just a Longer Way to it through the Lungs?	Petrenko A	麻酔科学講座
Neurol Res 33:578-582,2011	Intraoperative facial nerve motor evoked potential monitoring during skull base surgery predicts long-term facial nerve function outcomes.	Masahumi Fukuda, Makoto Oishi, Tetsuya Hiraishi, Akihiko Saito, Yukihiko Fujii	脳神経外科
Neuropathology 31:486-493,2011	Induction of autophagy in temozolomide treated malignant gliomas.	Natsumeda M, Aoki H, Miyashita H, Yajima N, Uzaka T, Toyoshima Y, Kakita A, Takahashi H, Fujii Y	脳神経外科
Neurosci Lett 510(2):104-109,2012	Near-infrared spectroscopic study and the Wada test for presurgical evaluation of expressive and receptive language functions in glioma patients:With a case report of dissociated language functions.	Sato Y, Uzaka T, Aoki H, Natsumeda M, Oishi M, Fukuda M, Fujii Y	脳神経外科
Childs Nerv Syst Published online 06 Mar 2012	The effects of temozolomide delivered by prolonged by prolonged intracerebral microinfusion against the rat brainstem BGM allograft model.	Junichi Yoshimura, I-Mei Sin, Ulrich-W Thomale, George I. Jallo	脳神経外科
Clin Auton Res	Reduced bowel sounds in early Parkinson's disease and multiple system atrophy	Ozawa T, Saji E, <u>Nishizawa M</u>	神経内科
J Cereb Blood Flow Metab	Inhibition of VEGF signaling pathway attenuates hemorrhage after tPA treatment	Kanazawa M, Igarashi H, Kawamura K, <u>Nishizawa M</u> , Shimohata T	神経内科
Human molecular genetics	Cerebral small-vessel disease protein HTRA1 controls the amount of TGF-β1 via cleavage of proTGF-β1	Shiga A, Nozaki H, Yokoseki A, Nishizawa M	神経内科
Mov Disord	Brainstem metabolites in multiple system atrophy of cerebellar type: 3.0-T magnetic resonance spectroscopy study	Takado Y, Igarashi H, Terajima K, Nishizawa M, Nakada T	神経内科
Neurology	A novel mutation in the HTRA1 gene causes CARASIL without alopecia	Nishimoto Y, Shibata M, Onodera O, Nishizawa M, Suzuki N	神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Brain	Genotype-phenotype correlations in early onset ataxia with ocular motor apraxia and hypoalbuminemia	Yokoseki A, Ishihara T, Koyama A, Nishizawa M, Onodera O	神経内科
Neurology	Floppy epiglottis as a contraindication of CPAP in patients with multiple system atrophy	Shimohata T, Tomita M, Nakayama H, Aizawa N, Nishizawa M	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychi	Clinical features of neuromyelitis optica in a large Japanese cohort: comparison between phenotypes	Nagaishi A, Takagi M, Nishizawa M, Sakimura K, Tanaka K	神経内科
BMC Neurol	Successful twin pregnancy in a patient with parkin-associated autosomal recessive juvenile parkinsonism.	Serikawa T, Shimohata T, Akashi M, Nishizawa M	神経内科
Biochem Biophys Res Con	Functional characterization of the P1059L mutation in the inositol 1,4,5-trisphosphate receptor type 1 identified in a Japanese SCA15 family	Yamazaki H, Nozaki H, Onodera O, Nishizawa M, Mikoshiba K	神経内科
Case Rep Neurol	A patient with fragile X- associated tremor/ ataxia syndrome presenting with executive cognitive deficits and cerebral white matter lesions	Kasuga K, Ikeuchi T, Arakawa K, Yajima R, Nishizawa M	神経内科
Parkinsonism Relat Disord	Parkinsonian features in a patient with diffuse neurofibrillary tangles with calcification (DNFC)	Ikeuchi T, Katsui T, Kasuga K, Hirose M, Nishizawa M	神経内科
J Clin Invest	A mutation in the immunoproteasome subunit PSMB8 causes autoinflammation and lipodystrophy in humans	Kitamura A, Nishizawa M, Yasutomo K	神経内科
Exp Brain Res	On-line effects of quadripulse transcranial magnetic stimulation (QPS) on the contralateral hemisphere studied with somatosensory evoked potentials and near infrared spectroscopy	Hirose M, Mochizuki H, Groiss S, Nishizawa M, Ugawa Y	神経内科
Neuropathology	Primary lateral sclerosis: upper-motor-predominant amyotrophic lateral sclerosis with fronto-temporal lobar degeneration. Immunohistochemical and biochemical analyses of TDP-43	Kosaka T, Fu Y-J, Nishizawa M, Kakita A, Takahashi H	神経内科
Neurorehabil Neural Repair	Cerebellar Ataxia Rehabilitation (CAR) trial in degenerative cerebellar diseases	Miyai I, Sobue G, Nishizawa M	神経内科
Parkinsonism Relat Disord	A serial MRI study in a patient with progressive supranuclear palsy with cerebellar ataxia	Kanazawa M, Shimohata T, Endo K, Koike R, Nishizawa M	神経内科
Mov Disord	Significance and usefulness of heart rate variability in patients with multiple system atrophy	Furushima H, Shimohata T, Nakayama H, Ozawa T, Nishizawa M	神経内科
J Hum Genet	Prevalence of inositol 1, 4, 5-triphosphate receptor type 1 gene deletion, the mutation for spinocerebellar ataxia type 15, in Japan screened by gene dosage	Obayashi M, Ishikawa K, Nishizawa M, Mizusawa H	神経内科
Oral Surgery, Oral Medicine, Oral Pathology, Oral Radiology, available online 25 February 2012 in press.	Effects of Intermittent Parathyroid Hormone Treatment on New Bone Formation during Distraction Osteogenesis in the Rat Mandible.	Ali MN, Kobayashi T, Tanaka M, Ohshima H, Ejiri S, Saito C	口腔再建外科
OS OM OP OR Endo, 2011 in press	Prognostic factors of Autotransplantation of teeth with complete root formation.	Aoyama S, Yoshizawa M, Niimi K, Sugai T, Kitamura N, Saito C.	口腔再建外科

小計 15 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pathobiology 78(3):171-180, 2011.	Enhanced Expression of Podoplanin in Oral Carcinomas in situ and Squamous Cell Carcinomas.	Funayama A, Cheng J, Maruyama S, Yamazaki M, Kobayashi T, Syafridi M, Kundu S, Shingaki S, Saito C, Saku T	口腔再建外科
Virchows Arch. 460(5): 473-480, 2012.	Intraepithelially entrapped blood vessels in oralcarcinomain-situ.	Funayama A, Maruyama S, Yamazaki M, AL-Eryani K, Shingaki S, Saito C, Cheng J, Saku T	口腔再建外科
Int J Oral Maxillofac Surg. 40(6):584-92,2011.	Changes in oropharyngeal airway and respiratory function during sleep after orthognathic surgery in patients with mandibular prognathism.	Hasebe D, Kobayashi T, Hasegawa M, Iwamoto T, Kato K, Izumi N, Takata Y, Saito C.	口腔再建外科
International Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, 40 (12): 1449-1450, 2011.	Sialadenitis as a possible risk factor for salivary gland cancer.	Hasegawa M, Cheng J, Maruyama S, Yamazaki M, Saku T	口腔再建外科
Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology, in press, published online 3 September 2011.	Changes in masticatory functions after surgical orthognathic treatment in patients with jaw deformities: Efficacy of masticatory exercise using chewing gum.	Kato K, Kobayashi T, Kato Y, Takata Y, Yoshizawa M, Saito C	口腔再建外科
Br. J. Oral Maxillofac. Surg. 50 (2):176-180,2012	Progressive condylar resorption after mandibular advancement.	Kobayashi T, Izumi N, Kojima T, Sakagami N, Saito I, Saito C	口腔再建外科
Oral Oncol 47(6): 497-503, 2011.	Emergence of keratin 17 vs. loss of keratin 13: Their reciprocal immunohistochemical profiles in oral carcinoma in situ.	Mikami T, Cheng J, Maruyama S, Kobayashi T, Funayama A, Yamazaki M, Adeola HA, Wu L, Shingaki S, Saito C, Saku T	口腔再建外科
Oral Maxillofac Surg. 23(1): 18-24, 2011.	Clinical Study on Root Resorption of Auto-transplanted Teeth with Complete Root Formation. Asian J.	Niimi K, Yoshizawa M, Sugai T, Kobayashi T, Ono K, Takagi R, Okiji T, Saito C	口腔再建外科
Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology, Available online 8	Effect of orthognathic surgery on middle ear condition.	Sato H, Kobayashi T, Takatsuji H, Funayama A, Mikami T, Saito C	口腔再建外科
Oral Craniofacial Engineering. 1(4): 376, 2011.	Regeneration process after intraoral grafting of tissue-engineered human oral mucosa in athymic mice.	Yoshizawa M, Koyama T, Funayama A, Mikami T, Saito C.	口腔再建外科
J Oral Maxillofac Surg. 2011 Jul 28. [Epub ahead of print]	Keratinocytes of tissue-engineered human oral mucosa promote re-epithelialization after intraoral grafting in athymic mice.	Yoshizawa M, Koyama T, Kojima T, Kato H, Ono Y, Saito C	口腔再建外科
顎変形症患者の顎関節症状と顎顔面形態との関連.	日本口腔外科学会雑誌. 57(8): 441-451, 2011.	相川 弦, 小林正治, 齋藤 功, 林 孝文, 齊藤 力	口腔再建外科
日本歯科医学会誌. 31: 34-38, 2012.	骨再生バイオマテリアルと間葉系幹細胞併用による骨再生向上の解析—培養技術を応用した新しい骨再生法の展開—.	小島 拓, 芳澤享子, 小野由起子, 鈴木晶子, 坂上直子, 長谷川智香, 網塚憲生, 織田公光, 前田健康, 齊藤 力	口腔再建外科

小計 14 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本顎変形症学会雑誌. 21(4): 238-243, 2011.	顎矯正手術におけるポリ-L-乳酸/ポリ-D-乳酸 /ポリグリコール酸生体吸収性骨接合材の臨床評価.	小林正治, 齊藤力, 小村 健, 原田 清, 橋 本賢二, 加納浩之, 高田佳之	口腔再建外科
日本顎変形症学会雑誌. 21(4): 215-224, 2011.	顎変形症患者における咽頭気道形態の3次元CT 評価.	高井貞浩, 田中 礼, 小林正治, 小田陽平, 林 孝文, 齊藤力	口腔再建外科
新潟歯学会雑誌 41(2) : 23-28, 2011.	睡眠呼吸障害の原因であった舌口底部動静脈奇 形の1例	高田佳之, 小林正治, 泉 直也, 船山昭典, 長谷部大地, 齊藤力	口腔再建外科
日本顎関節学会雑誌. 23(3): 155-160, 2011.	外側翼突筋内に膿瘍を形成した化膿性顎関節炎 の1例	高田佳之, 小林正治, 西山秀昌, 小野由起 子, 泉 直也, 齊藤力	口腔再建外科
日本口蓋裂学会雑誌 36(3): 208-212, 2011.	フロッピーインファントにみられた粘膜下口蓋裂の 1例	高田佳之, 小田陽平, 泉 直也, 小林正治, 齊藤力	口腔再建外科
日本顎変形症学会雑誌. 21(4): 225-231, 2011.	下顎枝矢状分割法が下顎頭の位置と顎関節症状 に及ぼす影響について -3種類の術式の比較-	高田佳之, 小林正治, 小野由起子, 上杉崇 史, 加藤祐介, 船山 昭典, 三上俊彦, 齊 藤力	口腔再建外科
日本顎関節学会雑誌. 24(1): 28-33, 2012.	陈旧性両側顎関節脱臼の1例.	高田佳之, 小林正治, 西山秀昌, 小野由起 子, 泉 直也, 齊藤力	口腔再建外科
富山県立中央病院医学 雑誌. 35(1/2): 47-49, 2012.	全身麻酔下に口腔内病変切除手術を施行した自 傷行為を繰り返す自閉症患者の1例.	高辻紘之, 横林康男, 中條智恵, 酒井翔悟, 大作郁男	口腔再建外科
新潟歯学会雑誌. 41(1): 31-37, 2011.	頬粘膜扁平上皮癌の臨床的検討.	新美奏恵, 芳澤享子, 新垣 晋, 小田陽平, 船山昭典, 三上俊彦, 金丸祥平, 泉 直也, 齊藤力	口腔再建外科
Clin Oral Implants Res. 2011 Oct 20. [Epub ahead of print]	Variation in arterial supply to the floor of the mouth and assessment of relative hemorrhage risk in implant surgery.	Katsumi Y, Tanaka R, Hayashi T, Koga T, Takagi R, Ohshima H	顎顔面外科
Arch Oral Biol. 27(7): 906-17, 2011.	Zoledronic acid induces S-phase arrest via a DNA damage response in normal human oral keratinocytes.	Ohnuki H, Izumi K, Terada M, Saito T, Kato H, Suzuki A, Kawano Y, Nozawa- Inoue Kayoko, Takagi R, Maeda T	顎顔面外科
J Biomed Mater Res A. 98(1):100-13, 2011.	Improved adhesion of human cultured periosteal sheets to a porous poly(L-lactic acid) membrane scaffold without the aid of exogenous adhesion biomolecules.	Kawase T, Tanaka T, Nishimoto T, Okuda K, Nagata M, Burns DM, Yoshie H.	顎顔面外科
Cryobiology. 62(3):202- 9, 2011.	Manual cryopreservation of human alveolar periosteal tissue segments: Effects of pre-culture on recovery rate.	Kawase T, Kogami H, Nagata M, Uematsu K, Okuda K, Burns DM, Yoshie H.	顎顔面外科
1. J Oral Maxillofac Surg. 2011 Jul 28. [Epub ahead of print]	Keratinocytes of Tissue-Engineered Human Oral Mucosa Promote Re-Epithelialization After Intraoral Grafting in Athymic Mice.	Yoshizawa M, Koyama T, Kojima T, Kato H, Ono Y, Saito C	顎顔面外科

小計 14 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Oral Maxillofac Surg. 2011 Jul 28. [Epub ahead of print]	Keratinocytes of Tissue-Engineered Human Oral Mucosa Promote Re-Epithelialization After Intraoral Grafting in Athymic Mice.	Kuyama K, Sun Y, Fukui K, Maruyama S, Ochiai E, Fukumoto M, Ikeda N, Kondoh T, Iwadate K, Takagi R, Saku T, Yamamoto H	顎顔面外科
Oral Med Pathol. 15: 95-99, 2011.	Yamamoto H. Tumor mimicking actinomycosis of the upper lip: report of two cases.	Kuyama K, Sun Y, Fukui K, Maruyama S, Ochiai E, Fukumoto M, Ikeda N, Kondoh T, Iwadate K, Takagi R, Saku T	顎顔面外科
1. Histopathology. 59(2): 283-91, 2011.	Nuclear translocation of β -catenin synchronized with loss of E-cadherin in oral epithelial dysplasia with a characteristic two-phase appearance.	Alvarado CG, Maruyama S, Cheng J, Ida-Yonemochi H, Kobayashi T, Yamazaki M, Takagi R, Saku T.	顎顔面外科
Oral Oncology. 47(6): 497-503, 2011.	Emergence of keratin 17 vs. loss of keratin 13: Their reciprocal immunohistochemical profiles in oral carcinoma in situ.	Mikami T, Cheng J, Maruyama S, Kobayashi T, Funayama A, Yamazaki M, Adeola HA, Wu L, Shingaki S, Saito C, Saku T	顎顔面外科
Pathobiology. 78(3): 171-80, 2011.	Enhanced Expression of Podoplanin in Oral Carcinomas in situ and Squamous Cell Carcinomas.	Funayama A, Cheng J, Maruyama S, Yamazaki M, Kobayashi T, Syafriadi M, Kundu S, Shingaki S, Saito C, Saku T	顎顔面外科
J Oral Pathol Med. 41: 372-8, 2011.	Short telomeres in an oral precancerous lesion: Q-FISH analysis of leukoplakia.	Aida J, Kobayashi T, Saku T, Yamaguchi M, Shimomura N, Nakamura K, Ishikawa N, Maruyama S, Cheng J, Poon S, Sawabe M, Arai T, Takubo K.	顎顔面外科
Biochem Pharmacol.83: 653-660, 2011.	Modulation of AT-1R/AMPK-MAPK cascade plays crucial role for the pathogenesis of diabetic cardiomyopathy in transgenic type 2 diabetic (Spontaneous Diabetic Torii) rats.	Lakshmanan AP, Meilei H, Sukumaran V, Soetikno V, Suzuki K, Kodama M, Nagata M, Takagi R, Watanabe K.	顎顔面外科
Mol Cell Endocrinol.351: 208-219, 2011.	Olmesartan attenuates the development of heart failure after experimental autoimmune myocarditis in rats through the modulation of ANG 1-7 mas receptor.	Sukumaran V, Veeraveedu PT, Gurusamy N, Lakshmanan AP, Yamaguchi K, Ma M, Suzuki K, Nagata M, Takagi R, Kodama M, Watanabe K.	顎顔面外科
Histopathology 59(2): 283-291, 2011.	Nuclear translocation of β -catenin synchronized with loss of E-cadherin in oral epithelial dysplasia with a characteristic two-phase appearance.	Alvarado CG, Maruyama S, Cheng J, Ida-Yonemochi H, Kobayashi T, Yamazaki M, Takagi R, Saku T.	顎顔面外科

小計 9 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Oral Med Pathol.15: 95-99, 2011.	Tumor mimicking actinomycosis of the upper lip: report of two cases.	Kuyama K, Sun Y, Fukui K, Maruyama S, Ochiai E, Fukumoto M, Ikeda N, Kondoh T, Iwadate K, Takagi R, Saku T, Yamamoto H.	顎顔面外科
I. Bone. 50: 1123-1129, 2012.	A clinical study of alveolar bone tissue engineering with cultured autogenous periosteal cells: Coordinated activation of bone formation and resorption.	Nagata M, Hoshina H, Li M, Arasawa M, Uematsu K, Ogawa S, Yamada K, Kawase T, Suzuki K, Ogose A, Fuse I, Okuda K, Uoshima K, Nakata K, Yoshie H, Takagi R.	顎顔面外科
Oral Med Pathol. 16: 81-88, 2012.	Clinicopathological distinction of two categories of oral squamous cell carcinoma of the tongue: de novo and sequential types.	Saito M, Kobayashi T, Takagi R, Saku T:	顎顔面外科
Free Radic Res. 46: 154-163, 2012.	Quercetin offers cardioprotection against progression of experimental autoimmune myocarditis by suppression of oxidative and endoplasmic reticulum stress via endothelin-1/MAPK signalling.	Arumugam S, Thandavarayan RA, Arozal W, Sari FR, Giridharan VV, Soetikno V, Palaniyandi SS, Harima M, Suzuki K, Nagata M, Tagaki R, Kodama M, Watanabe K.	顎顔面外科
J Cell Mol Med. 2012 Jan 23. [Epub ahead of print]	Beneficial effects of edaravone, a novel antioxidant, in rats with dilated cardiomyopathy.	Arumugam S, Thandavarayan RA, Veeraveedu PT, Nakamura T, Arozal W, Sari FR, Giridharan VV, Soetikno V, Palaniyandi SS, Harima M, Suzuki K, Nagata M, Kodama M, Watanabe K.	顎顔面外科
Modern Pathology. 2012 Feb 3. [Epub ahead of print]	Loss of keratin 13 in oral carcinoma in situ: a comparative study of protein and gene expression levels using paraffin sections.	Ida-Yonemochi H, Maruyama S, Kobayashi T, Yamazaki M, Cheng J, Saku T.	顎顔面外科
Histopathology. 2012 Mar 27. [Epub ahead of print]	Keratin-10-positive orthokeratotic dysplasia: a new leukoplakia-type precancerous entity of the oral mucosa.	Kobayashi T, Maruyama S, Cheng J, Takagi R, Saito C, Saku T.	顎顔面外科
日口外誌57(8):471-475頁,2011.	: Wegener肉芽腫症による軟口蓋全欠損に対しスピーチエイドを装着した1例.	勝見祐二, 飯田明彦, 福田純一, 寺尾恵美子, 長谷川剛, 高木律男	顎顔面外科
日口外誌 57(10):558-562, 2011.	末期口腔癌皮膚転移症例に対するMohs pasteの使用経験.	小玉直樹, 児玉泰光, 田中英一郎, 小菅健裕, 谷口裕重, 高木律男	顎顔面外科
日顎変形誌 21(4): 2-7, 2011.	顎矯正手術における超音波診断法と単純CT画像を用いた顎動脈の走行位置評価.	児玉泰光, 林孝文, 嵐山貴徳, 田中礼, 福田純一, 高木律男	顎顔面外科
消化器と免疫. 47: 80-84, 2011	急性DSS腸炎におけるテルミサルタン注腸治療効果の検討.	山口 花, 鈴木健司, 孫 曉梅, 河内裕介, 朝倉 均, 永田昌毅, 高木律男	顎顔面外科

小計 11 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
新潟歯学会誌 41(2): 77-84, 2011.	マイクロRNA-17-92はBcl11bの発現を抑制し、アポトーシスを誘導する。	西川敦	顎顔面外科
Journal of Oral and Maxillofacial Surgery	Preoperative evaluation of spatial relationship between inferior alveolar nerve and fibro-osseous lesion by high resolution MR neurography on 3.0T system: a case report	Kenji Seo, Makoto Terumistu, et al.	歯科麻酔学分野
Peripheral nerve	損傷末梢神経の異常再生に対する高磁場拡散強調MRI解析	照光 真、瀬尾憲司ら	歯科麻酔学分野
Gerodontology	Relationship between root caries and cardiac arrhythmia.	金子正幸、葭原明弘、宮崎秀夫	予防歯科
J Clin Periodontol	Mineral content of calcium and magnesium in the serum and longitudinal periodontal progression in Japanese elderly smokers.	葭原明弘、岩崎正則、宮崎秀夫	予防歯科
Caries Res	Fluoride intake of Japanese infants from infant milk formula.	濃野 要	予防歯科
J Periodontal Res	Relationships among bone turnover, renal function and periodontal disease in elderly Japanese.	葭原明弘、宮崎秀夫	予防歯科
Prostaglandins Leukot Essent Fatty, Acids	Dietary ratio of n-6 to n-3 polyunsaturated fatty acids and periodontal disease in community-based older Japanese: a 3-year follow up study.	岩崎正則、葭原明弘、宮崎秀夫	予防歯科
J Dent Res	Relationship between saturated fatty acids and periodontal disease.	岩崎正則、葭原明弘、宮崎秀夫	予防歯科
Aging Clin Exp Res	Glomerular filtration rate and 10-year mortality in a 70-year-old community-dwelling Japanese population.	葭原明弘、宮崎秀夫	予防歯科
Community Dental Health	Relationship between bone fragility of the mandibular inferior cortex and tooth loss related to periodontal disease in older people.	葭原明弘、宮崎秀夫	予防歯科
Arch Gerontol Geriatr	Influence of dental occlusion on physical fitness decline in a healthy Japanese elderly population.	奥山奈保子、山賀孝之、宮崎秀夫	予防歯科
J Dent Hlth	Relationship between periodontal disease and bone metabolism in the elderly.	葭原明弘	予防歯科
Journal of Endodontics	Expressional alterations of fibrillin-1 during wound healing of human dental pulp.	吉羽永子	歯の診療室
International Endodontic Journal	Uptake of calcium and silicon released from calcium silicate-based endodontic materials into root canal dentin	興地隆史	歯の診療室
Dental Materials Journal	Evaluation of the ions release/incorporation of the prototype S-PRG filler-containing endodontic sealer	韓臨麟	歯の診療室
Journal of Endodontics	GaAlAs laser irradiation induces active tertiary dentin formation following pulpal apoptosis and cell proliferation in rat molars	重谷佳見	歯の診療室
Methods Mol Biol	Laser-capture microdissection for factor VIII-expressing endothelial cells in cancer tissues.	金子友厚	歯の診療室
Dental Traumatology	Clinical management of dens invaginatus in a maxillary lateral incisor with the aid of cone-beam computed tomography - a case report.	金子友厚	歯の診療室
International Endodontic Journal	Immunohistochemical analysis of subcutaneous tissue reactions to methacrylate resin-based root canal sealers.	興地隆史	歯の診療室
日本歯内療法学会雑誌	MTAの理化学的・生物学的特性と臨床	興地隆史	歯の診療室
日本歯科保存学雑誌	試作フッ化物含有歯面コート材に関する研究 - エナメル質、象牙質の表面性状に与える影響について -	韓臨麟	歯の診療室
日本歯内療法学会雑誌	ケイ酸カルシウム系歯内療法用材料の生体機能性-表層析出物および象牙質界面の形態観察と元素分析-	韓臨麟	歯の診療室

小計 23 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
歯科審美	フーパーポストを併用した直接法レジン支台築造の破折強度と破折様相-繰り返し荷重の影響-	渡部平馬	歯の診療室
International Journal of Dentistry 405139. Epub 2011Apr. 3, 2011	Effects of orally administered lactoferrin and lactoperoxidase-containing tablets on clinical and bacteriological profiles in chronic periodontitis patients.	清水英寿/ 小林哲夫、吉江弘正	歯周診断・再建学分野/歯周病診療室
Journal of Periodontal Research 47(1): 105-113, 2012	Association of the FcγRIIB-nt645+25A/G polymorphism with the expression level of the FcγRIIb receptor, the antibody response to Porphyromonas gingivalis and the severity of periodontitis.	杉田典子	歯周病診療室
Clinica Chimica Acta 413 (1-2): 154-159, 2012	Increased serum PCSK9 concentrations are associated with periodontal infection but do not correlate with LDL cholesterol concentration.	宮澤春菜	歯周病診療室
Journal of Reproductive Immunology 93(2): 94-101, 2012	Immunoregulatory gene polymorphisms in Japanese women with preterm births and periodontitis.	杉田典子	歯周病診療室
Journal of Clinical Periodontology 39(3): 229-238, 2012	The association of Aggregatibacter actinomycetemcomitans with preeclampsia in a subset of Japanese pregnant women.	平野絵美	歯周病診療室
Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod	Radiological and histologic studies of the mandibular cortex of ovariectomized monkeys	Tanaka M	義歯入れ歯診療室
Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod	Correlations between alveolar bone microstructure and bone turnover markers in pre- and post-menopausal women.	Yamashita-Mikami E	義歯入れ歯診療室
J Anat	Alterations in intermediate filaments expression in disc cells from the rat temporomandibular joint following exposure to continuous	Magara J	義歯入れ歯診療室
日本歯技	「コンプリートデンチャーの維持安定および咬合平衡を高めるために」～印象採得・咬合採得・人工歯排列・歯肉形成の各工程の基本事項と必要条件を再考する～	渡邊清志	学部 包括歯科補綴学分野
日本顎口腔機能学会雑誌	タッピング運動時における下顎運動量と体幹運動量との関連.	金城篤史	義歯入れ歯診療室
Gerodontology	Evaluation of newly developed devices for denture placement and removal in the dependent elderly	川崎真依子	生体歯科補綴学分野
Int J Oral Maxillofac Implants	Observation of the Bone Surrounding Overloaded Implant in a Novel Rat Model.	長澤麻沙子	生体歯科補綴学分野
Biochem Biophys Res Commun.	Podocan-like protein: a novel small leucine-rich repeat matrix protein in bone.	加来 賢	生体歯科補綴学分野
Int J Oral Sci	Distribution and relative activity of matrix metalloproteinase-2 in human coronal dentin.	加来 賢	生体歯科補綴学分野
Archives of oral biology	Bmp signaling in filiform tongue papillae development:	川崎真依子	生体歯科補綴学分野
Developmental Biology	The role of Irf6 in tooth epithelial invagination:	川崎真依子	生体歯科補綴学分野
Orthodontic Waves	Long-term changes in the occlusion post-retention on Japanese	Kiyoshi Kanayama	矯正歯科診療室
日本口蓋裂学会雑誌	口唇裂・口蓋裂患児の第I期矯正歯科治療終了時期における母親の心情とその構造	吉田留巳	矯正歯科診療室
Orthodontic Waves-Japanese Ed	骨格性下顎前突症患者の嚥下時筋活動の時系列的活動様相の検討	福井忠雄	矯正歯科診療室

小計 20 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本口蓋裂学会雑誌	新潟大学医歯学総合病院矯正歯科診療室における30年間(1979~2008)の口唇裂・口蓋裂患者動向調査	竹山雅規	矯正歯科診療室
歯科審美	矯正歯科治療の基本概念と他科との協同治療	齋藤 功	矯正歯科診療室
Orthodontic Waves	Nonsurgical treatment of adult skeletal Class III malocclusion with crowding and missing four premolars corrected with extraction of mandibular first molars	Tadao Fukui	矯正歯科診療室
Arch Oral Biol	Do occlusal contact areas of maximum closing position during gum chewing and intercuspal position coincide?.	岩瀬陽子	小児歯科
Arch Oral Biol	Bmp signalling in filiform tongue papillae development	川崎勝盛	小児歯科
J Mater Sci Mater Med	Determination of fracture toughness of human permanent and primary enamel using an indentation microfracture method	坂井幸子	小児歯科
Cranio	Condyle shape in relation to anterior disk displacement in young adolescence.	大島邦子	小児歯科
Cranio	Comparison of normal permanent and primary dentition sagittal tooth-crown inclinations of Japanese females.	早崎治明	小児歯科
Arch Oral Biol	Association between mouth opening and head stability with intake of different-size food pieces during realistic eating	早崎治明	小児歯科
Am J Orthod Dentofacial Orthop,	Evaluation of improvement of nasal airway ventilation following rapid maxillary expansion using computational fluid.	早崎治明	小児歯科
Dev Biol	The role of Irf6 in tooth epithelial invagination.	川崎勝盛	小児歯科
Arch Histol Cytol	Pulpal responses to antimicrobials in the infected dental pulp of rat molars.	大島邦子	小児歯科
Biomed Res	Differentiation capacity of BrdU label-retaining dental pulp cells during pulpal healing following allogenic transplantation in mice	大島邦子	小児歯科
Cell Tissue Res	The relationship between cell proliferation and differentiation and mapping of putative dental pulp stem cells during mouse molar development by chasing BrdU-labeling.	大島邦子	小児歯科
日顎変形誌. 21(1): 18-29 2011.	先端巨大症に伴う下顎前突症に対して顎矯正手術を施行した1例 -骨格・咬合・鼻形態の変化-.	嵐山貴徳, 宮城尚史, 福田純一, 齋藤 功, 高木律男	顎関節治療部
顎機能誌2011;115-124	タッピング運動時における下顎運動量と体幹運動量との関連.	金城篤史, 河野正司, 昆はるか, 佐藤直子, 甲斐朝子, 小林博, 櫻井直樹, 野村修一	顎関節治療部
Oral Radiol	CT anatomy of the anterior superior alveolar nerve canal: a macroscopic and microscopic study.	田中 礼	画像診断・診療室
Jpn Dent Sci Rev	Application of ultrasonography in dentistry.	林 孝文	画像診断・診療室
Dentomaxillofac Radiol	The lingual lymph node identified as a sentinel node on CT lymphography in a cN0 squamous cell carcinoma of the tongue -report of a case-.	齋藤美紀子	画像診断・診療室
日本女性医学学会雑誌 20(1), in press	ホルモン補充療法の口腔領域における効果に関する文献レビュー	伊藤加代子	加齢歯科診療室
Physiology and behavior,106(2): 218-223, 2012.	Effects of pharyngeal electrical stimulation on the voluntary swallow in humans. Physiology and behavior	塚野英樹	加齢歯科診療室

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Dysphagia, 26(3): 238-245, 2011.	Influence of Chin-down Posture on Tongue Pressure during Dry Swallow and Bolus Swallows in Healthy Subjects.	堀一浩	加齢歯科診療室
臨床病態学, 南江堂, 東京	臨床検査における医療安全システム	鳥谷部真一	医療安全管理部
Intern Med;50:1911-6, 2011	Influence of obesity on control in asthmatic Japanese patients defined by the Japanese definition of obesity	Youkou A, Hasegawa T, Suzuki K, Koya T, Sakagami T, Toyabe S, Arakawa M, Gejyo F, Narita I, Suzuki E	医療安全管理部
J Asthma 48:211-6, 2011	Associations of Age and Birth Cohort with Total and Specific IgE Antibody Levels	Tsukioka K, Toyabe S, Akazawa K	医療安全管理部
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2011 Feb 3.	Prediction of range of motion 2 years after mobile-bearing total knee arthroplasty: PCL-retaining versus PCL-sacrificing	Ishii Y, Noguchi H, Takeda M, Sato J, Toyabe SI	医療安全管理部
J Arthroplasty 26(2):255-9, 2011	Changes in the Medial and Lateral Posterior Condylar Offset in Total Knee Arthroplasty	Ishii Y, Noguchi H, Takeda M, Ishii H, Toyabe SI	医療安全管理部
Jpn J Infect Dis 64:341-344, 2011	Serotyping and multilocus sequence typing of Streptococcus pneumoniae isolates from the blood and posterior nares of Japanese children prior to the introduction of 7-valent pneumococcal conjugate vaccine	Oishi T, Wada A, Chang B, Toyabe S, Uchiyama M	医療安全管理部
The Journal of asthma 48(3)	Associations of age and birth cohort with total and specific IgE antibody levels.	Kouhei Akazawa	医療情報部
消化器外科 第34巻 第5号	わが国におけるStageIV胃癌の治療方針;全国登録データからみた現状	赤澤宏平	医療情報部
Health 3(4)	Internal environment for growth of cancer cells in mice:hypothermia, anemia and lymphocytopenia	Kouhei Akazawa	医療情報部
厚生 の 指 標 第 58 巻 第 7 号	介護支援専門員の基礎資格は主治医との連携に影響を及ぼす	赤澤宏平	医療情報部
Medical Oncology 2011 Aug 19.	Long-term chemotherapy may prolong survival in advanced non-small-cell lung cancer among responders to first-line chemotherapy.	Kouhei Akazawa	医療情報部
Jpn J Clin Oncol. 41(11)	External Validation of the UCSF-CAPRA (University of California, San Francisco, Cancer of the Prostate Risk Assessment) in Japanese Patients Receiving Radical Prostatectomy.	Kouhei Akazawa	医療情報部
Gastric Cancer 14(4)	Gastric cancer treatment in Japan: 2008 annual report of the JGCA nationwide registry.	Kouhei Akazawa	医療情報部
World Journal of Surgery 35(9)	Assessment of the nodal status in ampullary carcinoma: the number of positive lymph nodes versus the lymph node ratio.	Kouhei Akazawa	医療情報部
BMC Public Health 11:323	Effect of an education program on improving knowledge of schizophrenia among parents of junior and senior high school students in Japan.	Kouhei Akazawa	医療情報部
Asian Pac J Cancer Prev. 12(1)	Clustering and Geographic Variation of Upper Gastrointestinal Cancers in a High-risk Region of Esophageal Cancer in Northern China.	Kouhei Akazawa	医療情報部
Anticancer Res. 31(4)	Phase II trial of preoperative chemotherapy for breast cancer: Japan Breast Cancer Research Network (JBCRN)-02 trial.	Kouhei Akazawa	医療情報部
Tohoku J Exp Med. 224(1)	Alcohol consumption as a risk factor for esophageal adenocarcinoma in North China.	Kouhei Akazawa	医療情報部
Acad Radiol. 18(6)	Relationship between heart rate and optimal reconstruction phase in dual-source CT coronary angiography.	Kouhei Akazawa	医療情報部
Clin Cancer Res, 2012, 18	High-Risk Ovarian Cancer Based on 126-Gene Expression Signature Is Uniquely Characterized by Downregulation of Antigen Presentation	Kouhei Akazawa	医療情報部

小計 21 件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Immunol. Immunother.	Vaccination with CD133+ melanoma induces specific Th17 and Th1 cell-mediated antitumor reactivity against parental tumor.	Miyabayashi T, Nakata K, Narita I, et al.	生命科学医療センター
N. Engl. J. Med.	Efficacy and safety of sirolimus in lymphangioleiomyomatosis.	McCormack FX, Nakata K, et al.	生命科学医療センター
Am. J. Respir. Crit. Care Med.	Indium-Tin Oxide Does Not Induce GM-CSF Autoantibodies.	Masuko H, Nakata K, Hebisawa A, et al.	生命科学医療センター
Results in Immunol.	Identification of a mechanism for lung inflammation caused by Mycoplasma pneumoniae using a novel mouse model.	Takeshi Saraya, Koh Nakata, Hajime Goto, et al.	生命科学医療センター
Eur. Respir. J.	Direct evidence that GM-CSF inhalation improves lung clearance in pulmonary alveolar	Ohashi K, Nakata K, Tazawa R, et al.	生命科学医療センター
Eur. Respir. J.	Reduced GM-CSF autoantibody in improved lung of autoimmune pulmonary alveolar proteinosis.	Ohashi K, Nakata K, Tazawa R, et al.	生命科学医療センター
Nihon Yakurigaku Zasshi.	[autoimmune pulmonary alveolar proteinosis and GM-CSF inhalation therapy].	Tazawa R, Nakata K.	生命科学医療センター
Intern Med	Successful remission of Evans syndrome associated with Graves' disease by using propylthiouracil monotherapy.	Ushiki T, Fuse I, et al.	輸血・再生医療部門
Int J Lab Hemtaol	Kinetics of pDCs, mDCs, $\gamma\delta$ T cells and regulatory T cells in association with graft versus host disease after hematopoietic stem cell transplantation.	Watanabe N, Fuse I, et al.	輸血・再生医療部門
Bone	A clinical study of alveolar bone tissue engineering with cultured autogenous periosteal cells: coordinated activation of bone formation and resorption.	Nagata M, Fuse I, et al.	輸血・再生医療部門
J Med Case Rep	Henoch Schönlein purpura associated with pulmonary adenocarcinoma.	Mifune D, Yoshizawa H, et al.	第二内科・生命科学医療センター
J Thorac Oncol.	Low-dose gefitinib treatment for patients with advanced non-small cell lung cancer harboring sensitive epidermal growth factor receptor mutations.	Satoh H, Yoshizawa H, et al.	生命科学医療センター
BMC Cancer.	Clinical responses to EGFR-tyrosine kinase inhibitor retreatment in non-small cell lung cancer patients who benefited from prior effective gefitinib therapy: a retrospective analysis.	Watanabe S, Yoshizawa H, et al.	生命科学医療センター
日本胸部臨床	リンパ脈管筋腫症(LAM)の最前線-LAMの病因	中田 光	生命科学医療センター
総合臨床	自己抗体の分子進化と肺胞蛋白症	中田光, 根井貴仁, 中垣和英	生命科学医療センター
再生医療	培養骨膜シート移植を応用した歯周組織再生法	奥田一博, 川瀬知之, 中田光, 吉江弘正	輸血・再生医療部門
医薬ジャーナル	韓国における産学官連携による臨床試験実施体制	吉澤弘久, 本間真人	生命科学医療センター
医薬ジャーナル	肺癌治療薬	吉澤弘久	生命科学医療センター
臨床腫瘍プラクティス	肺癌化学療法時の悪心・嘔吐の実態	田中洋史, 吉澤弘久 他	生命科学医療センター
肺癌診療Q&A 一つ上を行く診療の実践	高齢者小細胞肺癌の薬剤選択を教えてください	吉澤弘久	生命科学医療センター
Journal of Dental Research	FGF-2 stimulates periodontal regeneration: results of a multi-center randomized clinical trial	Kazuhisa Yamazaki	お口の健康室

小計 21 件

合計 439 件

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 内山 聖
管理担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院事務部長 宮田 幸宏

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		(医) 病歴管理室 フィルム管理室 電算機室 (歯) 医事課事務室	外来・・・1患者につき1カルテ番号方式 入院・・・1患者1入院につき1カルテ方式 外来・・・平成23年1月以降 電子媒体 平成22年12月以前 紙媒体 入院・・・電子媒体(1部紙媒体)
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	/
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	地域医療保険推進部	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項各号及び第九の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	/
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染管理部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染管理部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学部門
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部門
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部門		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部門		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 内 山 聖
閲覧担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院総務課長 齋 藤 正 志
閲覧の求めに応じる場所	医歯学総合病院管理棟大会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医 師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	82.0%	算定期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	13,690人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	10,805人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	3,354人	
	D: 初診の患者の数	23,118人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	㊦・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理に関する基本的な考え方 ・ 安全管理のための委員会その他の組織に関する基本事項 ・ 安全管理のための職員研修に関する基本方針 ・ 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 ・ 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 ・ 職員と患者との間の情報の共有に関する基本方針 ・ 患者からの相談への対応に関する基本方針 ・ その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故の防止対策に関すること ・ 医療事故の防止に係る教育および研修に関すること ・ 医療事故の防止マニュアルに関すること、他 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 7 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 「医歯学総合病院：平成 2 2 年度の動向と今後」 「麻薬の取り扱いについて」 ・ 「みんなで取り組む感染対策と医療安全」 ・ 「入院患者のインスリン治療について」 ・ 「救急蘇生ガイドライン 2 0 1 0 の変更点と、当院コードブルーの現状（第 3 報）」 ・ 「ヒューマン・エラーの予防と修正－「指摘」の機能する組織へ」 ・ 「院内における自殺防止のための取り組みについて」 ・ 「院内の暴言・暴力への対応について」 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (㊦・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内で発生したインシデント・医療事故のインシデントレポートによる報告と情報収集 ・ 医療事故事例の医療事故防止委員会での報告、改善策の立案と実施、改善状況の検証 ・ 重大事故発生時には速やかに管理者に報告するための体制整備 ・ 医療事故対策委員会、(調査専門委員会)における事例分析、再発防止の検討、他
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	㊦ (3 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	㊦ (2 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	㊦・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (3) 名 兼任 (2 6) 名 ・ 活動の主な内容：医療安全管理対策と患者の安全確保を推進するため、医療安全管理部を設置している。主な活動は下記の通り。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故およびインシデントに係る情報の収集・分析・提供 ・ 医療の安全管理に係る教育と研修、部署リスクマネージャーとの連携 ・ 医療事故発生時の対応に係る指導と状況確認 ・ 医療に係る安全管理のための委員会 (医療事故防止委員会) の運営、他 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	㊦・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	㊦・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 院内感染に関する基本的な考え方・ 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本事項・ 院内感染対策のためのすべての職員に対する研修に関する基本方針・ 感染症の発生状況の報告に関する基本方針・ 院内感染発生時の対応に関する基本方針・ 患者等に対する指針の閲覧に関する基本方針・ 院内感染対策の推進のために必要なその他の基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 13回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 院内感染対策指針及び院内感染対策のマニュアルに関すること・ 院内感染の予防対策に関すること・ 院内感染発生時の対応及び改善策に関すること・ 院内感染対策に係る情報の収集および医療従事者への周知に関すること・ 院内感染対策に係る教育及び研修に関すること・ 院内感染対策の実施状況の評価に関すること・ その他院内感染対策に関すること	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 5回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 「みんなで取り組む感染対策と医療安全」・ 「歯科における清潔不潔 新外来棟での感染対策を踏まえて」・ 「一歩進んで接触予防策」・ 「正しい検体採取から検査がはじまる」・ 「HIV感染症の動向と基礎知識」	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 病院における発生状況の報告等の整備 (㊦・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 耐性菌, 人工呼吸器関連肺炎, 中心ライン関連ライン血流感染, 手指消毒薬の払い出し状況, 抗菌薬の使用状況等のサーベイランスを実施, 蓄尿及び尿量測定方法に関する基準の策定・ サーベイランス情報を活用した院内ラウンドの実施 (情報の共有と改善のためのディスカッション)・ 細菌検査や感染症迅速検査の結果の連絡体制を整備し迅速な感染防止対策を実施・ 院内感染対策基本マニュアルの改訂	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容： 「麻薬の取り扱いについて」 5/27；講義（他、7/13；講義映像の視聴）	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有 無) ・ 業務の主な内容： H23年12月手順書を一部改訂。 第7 2. 注射 に認証システムを、第7 3. 与薬 に処方変更、持参薬に関する手順を「医療スタッフマニュアル」に則り追記。その他、表記を一部訂正。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1. 採用薬剤適正使用情報 (Vol.16～Vol.34) の配信 当院採用薬について緊急性を要する情報が生じた場合、院内医療情報端末を利用してメール配信を行っている。配信先（医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、栄養士等）は状況に応じて選択可能。 2. 薬剤情報ステーションの発刊 薬剤部から2ヶ月に1回発刊している情報誌の「安全の扉」のページで医薬品の安全使用についてトピックスを交えて情報提供している。 安全の扉： Vol.17 No.2 「患者さんからの副作用報告システム、試行開始」 No.3 「プレペノン注100mgシリンジは、返却！」 No.4 「再確認！アセトアミノフェン製剤」 No.5 「薬剤部で混注していない薬があります！注意！」 No.6 「プラザキサによる重篤な出血・間質性肺炎に注意！」 Vol.18 No.1 「再確認！ワルファリンカリウムの用法・用量」 No.2 「肺炎球菌ワクチンの接種対象年齢に気をつけて！」	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 64回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・ 人工心肺装置・補助循環装置の使用説明・ 人工呼吸器の安全使用説明・ 持続的血液ろ過装置の使用とメンテナンスに関して・ 透析装置の取扱い説明・ 除細動装置の取扱い・ 閉鎖式保育器 <ul style="list-style-type: none">・ 神経刺激装置・ ICD・ 電気手術機・ 超音波吸引装置・ 自己血回収装置・ 経腸栄養ポンプ	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：医療機器 (人工心肺装置、補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、放射線照射装置) に関して、保守点検計画書を策定。実施状況・内容等は院内の委員会 (医療機器安全管理責任者を含む) にて評価を受ける。</p> <p>* 保守点検計画書には医療機器名、製造販売業者名、型式、保守点検を実施する予定の時期、間隔、条件等を記載。また、機器台帳にて修理履歴を保管。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p>	